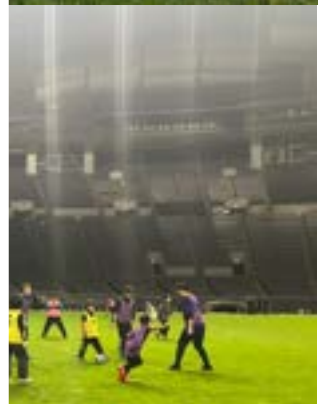




# HKFA 要覧

2026

## 特集

HKFA活動報告  
ウォーキングフットボール報告  
第4種委員会  
医学委員会  
千歳地区サッカー協会  
オホーツク地区サッカー協会  
宗谷地区サッカー協会  
北海道自治体職員サッカー連盟  
北海道チャレンジドサッカー連盟





### JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、  
人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

### JFAのビジョン

サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、  
人々が幸せになれる環境を作り上げる。  
サッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで、  
人々に勇気と希望と感動を与える。  
常にフェアプレーの精神を持ち、国内の、  
さらには世界の人々と友好を深め、国際社会に貢献する。

### JFAのバリュー

|             |                     |
|-------------|---------------------|
| エンジョイ       | スポーツの楽しさと喜びを原点とすること |
| プレイヤーズファースト | 選手にとっての最善を考えること     |
| フェア         | オープンかつ誠実な姿勢で公正を貫くこと |
| チャレンジ       | 成長への高い志と情熱で挑戦を続けること |
| リスペクト       | 関わりのあるすべてを大切に思うこと   |





# INDEX

ホームページ公開用

|     |                       |
|-----|-----------------------|
| 001 | 会長挨拶                  |
| 003 | 特集      HKFA活動報告      |
| 005 | ウォーキングフットボールの取り組み     |
| 007 | 各委員会/第4種委員会           |
| 009 | 医学委員会                 |
| 011 | 加盟団体/千歳地区サッカー協会       |
| 013 | オホーツク地区サッカー協会         |
| 015 | 宗谷地区サッカー協会            |
| 017 | 北海道自治体職員サッカー連盟        |
| 019 | 北海道チャレンジドサッカー連盟       |
| 021 | ご寄付のご報告               |
| 022 | 各委員会から                |
| 029 | HKFA中期ビジョン            |
| 030 | 加盟団体15地区FAから          |
| 043 | 夢きたれのご案内              |
| 044 | 加盟団体各種連盟から            |
| 053 | 札幌サッカーアミューズメントパークのご案内 |
| 054 | データベース(2025年度)        |
| 055 | 事業結果報告                |
| 062 | 北海道出身各カテゴリー日本代表       |

※個人情報を除く内容を公開しております



# 夢をつなぐ、未来へ

日頃より、本協会の活動に温かいご支援とご理解を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、北海道におけるサッカーの歩みと未来への展望を広く共有する機関誌を発刊できますことを、大変嬉しく思います。本誌では、各地域の特色ある取り組みや各種大会の成果、育成年代をはじめとする普及・強化活動など、北海道サッカーの「今」を幅広くご紹介いたします。

本協会では、「HKFA中期ビジョン」を策定し、「選手強化」「財務体質の強化」「登録者数の維持・拡大」「組織力の強化」の四つを柱として、持続可能な北海道サッカーの発展に取り組んでおります。全国ベスト4以上を目標とした選手育成、自主財源の拡充による安定した事業運営、キッズ年代や女子サッカーを含めた普及活動、そして地区協会や各種連盟、各種委員会との連携を一層深めながら、未来を見据えた協会運営を進めています。

こうした歩みを支えてくださっているのは、選手、指導者、審判員、保護者、ボランティアの皆様をはじめ、北海道フットボールファミリーの皆様です。皆様お一人おひとりの情熱とご支援が、北海道サッカーの未来を支える大きな力となっています。改めて深く感謝申し上げます。

本誌が、北海道各地の仲間たちの活動を知り、新たなつながりを育む一冊となることを願っています。そして、北海道の子どもたちをはじめ、すべてのフットボールファミリーが夢や目標に向かって挑戦する姿を共有し、ともに未来へつないでいく架け橋となれば幸いです。結びに、本誌の編集・発刊にご尽力いただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げ、ご挨拶いたします。

公益財団法人北海道サッカー協会

会 長 越 山 賢 一



# 特集



- ・HKFA活動報告
- ・第4種委員会
- ・千歳地区サッカー協会
- ・宗谷地区サッカー協会
- ・北海道チャレンジドサッカー連盟
- ・ウォーキングフットボールの取り組み
- ・医学委員会
- ・オホーツク地区サッカー協会
- ・北海道自治体職員サッカー連盟

# HKFA2025 活動報告



**北海道のサッカーは  
競技としての魅力にとどまらず、  
人と人をつなぎ、地域に活力を  
もたらしています**

2025年度も北海道内ではサッカーの活動が着実に展開され、その裾野はゆるやかに、しかし確実に広がっています。安定した活動の継続と質の向上を両立しながら、地域社会との連携を深め、北海道のスポーツ文化の発展に取り組んできました。

公益財団法人北海道サッカー協会 会長 越山 賢一



# HKFA中期ビジョンにおける2025年度KPI

## 北海道サッカーの現在地

2025年度総合達成率

# 81.1%

中期ビジョンの目標に対し各目標を合算した総合的数値。2028年度に向け確かな一歩を刻んでいます。



全国大会BEST4(達成率80.0%)  
4チーム

目標5チーム

北海道代表は全国大会において4チームがベスト4進出を果たしました。目標の5チームには一歩届かなかったものの、全国トップレベルで戦える力を持つことを改めて示しました。

選手登録数(達成率98.3%)  
31,450人

目標32,000人

選手登録数は31,450人となり、目標にはわずかに届かなかったものの、高い水準を維持しています。

自主財源獲得(達成率65.0%)  
130万円

目標200万円

目標の200万円に対し、さらなる改善・戦略が必要な重要な領域。今後さらなる工夫と戦略が求められます。

## 今後に向けて

2028年度に向けて、これまでの成果を土台としながら、より多くの人々にサッカーの価値を届け、地域に根ざした活動を一層充実させていきます。

## 公益目的事業の実績

### 地域に広がる参加の機会



22,598人  
1,365チーム

普及振興事業には22,598人・1,365チームが参加。地域における受け皿は着実に広がり、多くの人々がサッカーに親しむ環境が整っています。

### 北海道全体を支える競技環境



41,714人  
1,832チーム

競技会開催事業では、延べ41,714人・1,832チームが参加しました。北海道全域にわたって大会が実施され、各年代・各カテゴリーの競技機会がしっかりと確保されています。

### サッカーを支える人材づくり



12,371人  
(年間415回開催)

指導者・審判員の養成事業では、年間415回の講習会を開催し、延べ12,371人が参加しました。継続的な学びの機会を通じて、サッカーを支える人材の質の向上が図られています。

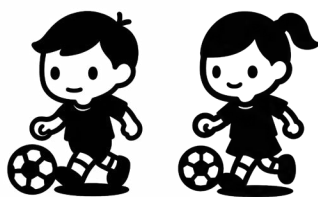
### 未来につながる育成の充実



6,573人

競技力向上事業には6,573人が参加。一回ごとの内容の質と精度を高めることで、より実践的で充実した育成環境が整えられています。

# ウォーキングフットボールの取り組み



HKFA中期ビジョンの重点領域である普及活動として、サッカー未経験者が参加しやすい環境を整備し、地域交流の促進や健康増進にウォーキングフットボールが適していると考え、ウォーキングフットボールが楽しめる場をコーディネートする人を養成し、実際に道内在中のファミリー向けにイベントを開催しました。

## ウォーキングフットボールとは…

2011年にイングランドで生まれた「歩いて行うサッカー」

サッカー未経験でも、運動が苦手でも、障害があってもプレーできます



走るの禁止



ヘディング禁止



接触禁止



スライディング禁止



# ウォーキングフットボール コーディネーター講習会

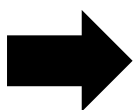
日程 : 2025年7月13日(日) 場所 : 札幌サッカーアミューズメントパーク  
参加者 : 18名 (各地区協会から1名ずつ+HKFA関係者4名)

座学と実践を通してルールを学び、実際にプレーをして、ウォーキングフットボールを楽しむ場をコーディネートする人材を養成しました。コーディネーターの増加によって、各地区協会での実施体制が少しずつ整ってきています

## 道内ウォーキングフットボールコーディネーター人数

2024年度

6名



2025年度

43名



# JFA×KIRIN キリンファミリーチャレンジカップ

日程 : 2025年10月4日(土) 場所 : つどーむ (札幌市スポーツ交流施設 コミュニティドーム)  
参加者 : 32チーム292名

老若男女、障がいの有無に関わらず、ウォーキングフットボールというスポーツを一切体験したことのない方々をお招きして実施・体験いただくことができたました。親子三世代での参加チームがあるなど、終始和やかな雰囲気包まれました。

また、当日は元SAMURAI BLUEの柏木陽介さん、安田理大さん、柿谷曜一朗さん、元なでしこジャパンの近賀ゆかりさん、宮間あやさんにお越しいただき、参加者と共にウォーキングフットボールをプレーし、会場を盛り上げていただきました。

ピッチのコーディネーターには、7月のコーディネーター講習会受講者も参加し、実際のイベントを体験することで、地区でのウォーキングフットボールを普及するヒントを得られました。



## 今後に向けて

2026年度を「地域展開へ移行の年」として、更なる広がりを目指して取り組んでいきます

- ✓ コーディネーター講習会の実施
- ✓ 各地区でのウォーキングフットボールの活動支援
- ✓ HKFAすきまフットボール部会と連携した体験会の実施

# 北海道 4 種年代 サッカーの 持続的发展を 目指して



公益財団法人北海道サッカー協会 第4種委員会 委員長 尾見 秀樹

2026年、FIFAワールドカップがいよいよ開催されます。世界最高峰の舞台で繰り上げられる熱戦は、子どもたちに「いつか世界へ」という夢と目標を与えてくれます。北海道の4種年代の選手たちにも、仲間とともにボールを追いかけながら、その夢に向かって成長し続けてほしいと願っております。

日頃より、指導者・審判員・保護者・関係者の皆様には、北海道の4種年代サッカーの発展に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

北海道の4種年代のサッカーは、広大な地域性の中で各地区に根差した活動を積み重ねながら発展を続けてまいりました。子どもたちは四季折々の自然の中で仲間とともにボールを追いかけ、喜びや悔しさを経験しながら心身ともに成長しております。これもひとえに、現場を支えてくださる皆様のご尽力のたまものと深く感謝しております。



## 「補欠ゼロ」と「出場機会確保」の徹底

### 1. 4種年代サッカーの本質

運営方法や時代が変化しても、4種年代サッカーの本質は変わりません。勝敗のみを追い求めるのではなく、子どもたち一人ひとりが心からサッカーを楽しんで、長く続けられること、仲間とのつながりの中で成長していくことこそが最も大切です。「補欠ゼロ」「出場機会の確保」試合に出場する時間の長短に関わらず、すべての子どもたちがチームの大切な一員であり、それぞれが成長の機会を得ることが重要です。仲間を応援すること、支え合うこと、挑戦すること、そのすべてが子どもたちの成長につながります。

あいさつや礼儀、思いやりの心、最後まで諦めない精

神など、サッカーを通じて学べることは数多くあります。北海道の厳しい冬を乗り越え、限られた環境の中で工夫し努力を重ねる経験は、競技力だけでなく人間的成長にも深く結びついております。

こうした本質を守り続けるためにこそ、私たちは運営体制の整備と環境づくりに真摯に取り組んでまいります。

近年、少子化による競技人口の減少、地域間の環境格差、気候変動による夏季の気温上昇など、これまで経験してこなかった課題への対応が求められています。本年度はこうした状況を踏まえ、以下の取り組みを進めてまいりました。



## 子どもたちの命と健康を守る

### 2. 暑熱対策



夏季に30度を超える日が増加し、特に人工芝グラウンドでは体感温度がさらに高くなる状況が続いております。4種年代の選手にとって、過度な暑さの中での試合は身体への負担が大きく、十分な配慮が不可欠です。本年度は一部大会について夏開催から秋開催への移行を進めました。学校・地域行事や施設利用との調整、さらには大会スケジュール全体の見直しなど多くの課題がありましたが、スポンサー様をはじめ関係各所のご理解とご協力のもと実現することができました。秋開催への移行により、選手たちがより良い環境の中で力を発揮できることを期待しております。

また、開催時期の見直しにとどまらず、給水時間の確保・試合間隔の調整・WBGT値を参考にした大会運営・テントや休憩場所の設置など、現場における取組も継続しております。かつての北海道の気候を前提とした運営では対応が難しい時代となっており、子どもたちの命と健康を守るため、引き続き柔軟な対応を進めてまいります。

## 運営者の継続性のために

### 4. 働き方改革



指導者・運営者の負担軽減も重要な課題です。限られた人数の指導者や役員が、日常の活動運営から大会準備・審判対応・会議運営まで多くの役割を担い、広域移動を伴う長時間の業務が続いている現状があります。現場を支える方々が無理なく活動を継続できる体制づくりは、選手の健全な育成環境を守るうえでも不可欠です。

本年度は業務の分担や大会運営の簡素化(U-10南・北大会および全日本U-12サッカー選手権の開催日短縮)を推進するとともに、オンライン会議・デジタルツールの活用による情報共有の効率化にも取り組んでおります。保護者・地域関係者の皆様にもご協力をいただきながら、「北海道(地域)全体で子どもたちを育てる」という意識のもとに、持続可能な運営体制の構築を目指してまいります。

## 北海道全体で子どもたちを育てる

### 6. 結びに



4種年代のサッカーは、選手だけで成り立つものではありません。保護者・指導者・審判員・地域関係者など、多くの方々の支えによって初めて成り立つものです。関わるすべての皆様が互いに協力し、「北海道(地域)全体で子どもたちを育てる」という意識のもとに力を合わせることで、今後ますます重要となります。

子どもたちが安全で楽しくサッカーに取り組める環境づくりを進めるとともに、北海道らしい地域に根差した4種年代サッカーのさらなる発展に努めてまいります。引き続き、皆様の温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 持続可能な協力体制

### 3. 主管大会の運営体制



本年度は、主管大会の輪番制についても見直しを行いました。これまでの地区割による主管体制は、地域によって人口規模や運営スタッフ数に差があり、一部地域への負担集中が課題となっておりました。北海道は移動距離が長く広域での運営が求められる地域特性もあることから、持続可能な大会運営体制の構築が急務となっておりました。

そのため、新たに「ブロック割」による輪番制へ移行いたしました。近隣地区が連携して大会運営を担うことで、人的負担の分散と運営ノウハウの共有が進み、より安定した運営が期待されます。大会は特定の地区だけで支えるものではなく、北海道全体で協力しながら選手の成長を支えていくものであるという意識を、改めて共有してまいります。

## サッカーの裾野を広げる

### 5. 普及活動



少子化が進む中、誰もが気軽にサッカーに親しめる環境づくりも重要です。キッズ事業やすきまフットボール部会との連携をはじめ、幼児・初心者・女子選手への支援、地域を越えた交流機会の充実、子どもたちが安心して活動できる場の整備など、多様なニーズに応えていく取組を推進してまいります。「楽しい」「またやりたい」と感じる子どもたちを一人でも増やしていくことが、北海道サッカーの未来につながるものと確信しております。



第4種委員会 委員長 尾見 秀樹  
2024年度第4種委員長に就任

# 医学委員会の 活動報告と 今後の展望

## 安全が創る、 最高のパフォーマンス

公益財団法人北海道サッカー協会 医学委員会 委員長 神谷 智昭

### 1. はじめに

医学委員会では以前から、現場での医療サポートを中心に活動してきました。それに加えて近年では、安全な競技環境の構築にも力を入れています。医学委員会の役割は単なる負傷への「事後処置」から、リスクを予見して未然に防ぐ「予防管理」に移行してきています。安全に長く競技を続けられる環境が、北海道サッカーの競技力向上に寄与すると考えています。

### 外傷治療から「包括的アスリート管理」へ

#### 2. トレセン活動での医療サポート

国スポ(国民スポーツ大会)および各種別トレセンにおいて、ドクターとトレーナーを派遣しています。現場での外傷に対する応急処置や救急対応だけでなく、レクチャーや超音波を用いたメディカルチェックを通じて、怪我の予防やコンディショニング方法について伝えています。また、感染症などの内科的疾患が発生した場合も、医学委員会で情報を共有して管理しています。近年は内科的な持病がありながらもプレーできる選手が増えてきました。そのような選手についても事前に情報を収集し、適宜対応するようにしています。今後は現在の課題である医療物品の整備、次世代を担う医療スタッフの育成、技術委員会と協力したフィジカル強化に取り組んでいきます。また課題となっている精神的な問題、脳震盪の急性期および後遺症への対策、栄養指導などは、専門家からアドバイスを得られる環境整備を始めました。これにより、安全面でも選手強化の面でも、より充実したサポートを実践できると考えています。一方でこれまでの活動が認められ、JFAの育成世代代表チームの医療スタッフに継続的に選ばれています。代表チームでの経験を北海道に還元し、さらには世界へ羽ばたく医療スタッフと選手を輩出したいと考えています。



国スポ少年男子のキャンプの様子

## EAP(緊急時対応計画)の標準化と導入

### 3. 大会運営に関わる安全管理

選手、指導者、審判、大会運営スタッフ、そして観客を含めたサッカーに関わる全ての人の安全を守るのも医学委員会の使命だと考えています。北海道では全国に先がけてJFAスポーツ救命ライセンス講習会を開催しています。講習会は心臓突然死、CPR(心肺蘇生法、AED)、脳震盪、熱中症などの講義と、AEDの使用や搬送の実技から構成されています。サッカー現場での正しい救急処置を学ぶことが目的であり、医療従事者だけではなくサッカーに関わる全ての人に受講してもらいたい内容です。HKFAの戦略的投資事業として開催回数を増やし、受講者数の増加と持続可能な運営を目指して展開しています。特にリスクの高いシニア世代、試合中選手の一番近くにいる審判を対象に、まずは普及活動を行いました。また今後は、大会運営における安全管理としてEAP(Emergency Action Plan;緊急時対応計画)の標準化と導入を検討しています。これは医療機器の準備状況の確認や、緊急連絡体制(AEDを持ってくる人、119番へ通報する人、バックボードを持って行く人)、搬送経路(救急車の経路、搬送先の当番病院の確認)を事前に決めておくものです。組織の安全管理能力を飛躍的に高めるガイドラインであり、近年のスポーツ現場ではEAPの整備が重要視されています。実際にプロチームの活動では標準化されてきており、まずは北海道内の主要大会から導入を検討しています。その際は、ご理解とご協力を賜ればと思います。



JFA救命ライセンス講習会の様子

### 5. まとめ

現代のスポーツ組織運営において、安全な環境が最高のパフォーマンスを生むと考えられています。安全な状況を作るためには人的要素だけではなく、環境要因や法的な問題等の、乗り越えなければいけない課題が多くあります。医学委員会は現場の医療サポートの枠を超え、医療者や指導者、審判に対する啓発活動、科学的なフィジカル強化、そして包括的なリスク管理を担う組織として発展させようと思います。北海道から世界に飛び出す選手の育成への貢献と同時に、北海道での医療サポートモデルを日本や世界に発信できるように委員会活動の活発化を目指しています。そのために関係各所の皆様の、より一層のご協力をお願い申し上げます。

## 1. 準備・配置 (Preparation)

医療機器(AED等)の  
準備状況と配置場所の  
事前確認



## 2. 緊急連絡体制 (Communication)

役割の事前決定

- ・AEDをもってくる人
- ・119へ連絡する人
- ・担架をもっていく人



## 3. 搬送経路 (Transportation)

救急車の進入経路確  
保、搬送先当番病院の  
事前確認



## すべての関わる人の命を守る救命講習

### 4. セミナー開催による啓発活動

上述のように医学委員会での活動の幅が大きくなり、従事する医療スタッフも多くなりました。以前から年に1回、医学セミナーを開催し最先端の知識を得る機会を設けています。代表チームのドクター、トレーナー、Jリーグで活躍するコンディショニングコーチにご講演いただいたり、日本の最先端の研究をしている講師を招いて勉強会を重ねてきました。その成果もあり北海道内でも講師を担える人材が育ったことから、去年はシンポジウム形式でいくつかのテーマを扱い議論を深めました。今後はさらに充実した内容で実施できるよう、準備を進めていきます。また本セミナーも医療従事者に関わらず、どなたでも参加可能なため、多くの皆様の来場をお待ちしています。



医学委員会 委員長 神谷 智昭  
2022年度医学委員長に就任



# 千歳地区の 現状と 今後の展望

## 誰もが輝ける サッカー環境を目指して

千歳地区サッカー協会 理事長 北国 浩

### 幅広い世代が繋がる、新しいサッカーの形

当地区は、千歳市・恵庭市・北広島市の3市各サッカー協会で構成されております。2025年度のチーム数は40チーム、選手登録数は1287名でした。前年度と比較しますと、選手登録数は72名、チーム数は1チームの減少となっています。今年度はU15女子チームを立ち上げ活動を始めました。またレディース&ガールズフットサルフェスティバルを開催し4歳の女の子から60代の女性まで幅広い世代の方が参加、運営には地区内の女子チームからスタッフ・選手が携わり、女子チーム間の繋がりや交流を深める良い機会となりました。

地区協会の構成  
3市のサッカー協会で構成し、運営



千歳地区の現状 (2025年度データ)

1,287↓

登録選手数

▼ 前年度から72名の減少

40

登録チーム数

▼ 前年度より1チーム減少

### 女子サッカーの新たな一歩と広がる未来

新たにU15女子チームを立ち上げ、  
女子選手の育成を強化



### レディース&ガールズフットサルフェスティバル

世代をこえて楽しむ女子サッカーの輪



## 暴力・暴言・ハラスメントのない現場を目指して

ウエルフェアオフィサー委員会においては、マッチウエルフェアオフィサー新規講習会及びクラブウエルフェアオフィサー研修会を開催するほかウエルフェアオフィサージェネラル新規講習会への受講者あり、サッカーを楽しむサッカーファミリーの

安全・安心を守りより快適なサッカー環境を構築するとともにサッカーの活動における暴力・暴言・ハラスメント等の行為の根絶に向けて一丸となって取り組んでいます。

### ウエルフェア(安全・安心な環境づくり)

#### ウエルフェアオフィサーの育成



マッチウエルフェアオフィサーやクラブウエルフェアオフィサーの講習・研修会を開催し、専門人材を育成

#### 暴力ハラスメントの根絶



サッカーを愛するすべての人が、安全・安心かつ快適にプレーできる環境の構築に一丸となって取り組む

## 経験を問わず楽しめるスポーツの場づくり

4種においては、U9以下世代へ楽しめるサッカーとフットサルの取り組みとして、サマー・ウィンターフェスタを開催しています。試合以外での活動では、審判に対しての接し方や発言、観戦マナーの注意喚起等々を含め、ハンドブック『めざせ！ベストサポーター』を各チームへ配布した他に、今年度

からは、地区内の幼稚園や保育園への巡回指導を推進していきます。新たな取り組みとしてサッカー未経験者や運動が苦手な方でも気軽に参加できるウォーキングフットボール体験会を開催し、誰もがサッカーの楽しさに触れられる環境づくりの構築を図っているところです。

### 多様な取り組みで広げるサッカーの裾野

#### サマー・ウィンターフェスタの開催



U9以下の低学年を対象に、サッカー・フットサルの楽しさを伝えるイベントを開催

#### 新たな挑戦・ウォーキングフットボール



サッカー未経験者や運動が苦手な方でも楽しめる「歩くサッカー」の体験会を開催

## 連携で広げる、サッカーファミリーの未来

今後の展望としては、各自治体や関係機関との連携による施設整備を進めるとともに、危機感を持って、地区協会と各種年代指導者の力を結集し、サッカーファミリー拡大を目指して参ります。



千歳地区サッカー協会  
理事長 北国 浩

# いつでも・どこでも・だれでも サッカーとつながれる地域を目指して



オホーツク地区サッカー協会 理事長 斎藤 正倫

## オホーツク地区の現状と課題

オホーツク地区は北海道北東部に位置し、北見市や網走市、紋別市をはじめとして18の市町村(3市14町1村)があり、人口は24万8000人と減少しています。これに伴い選手登録数も減少傾向にあります。特に第2種年代では2019年度の305名から2024年度には154名と半減、第3種・第4種年代でも小規模な自治体では単独の小学校・中学校でチームを編成することが難しく、複数地域による「合同チーム」の結成や、地域のクラブチームへの移行・統合が進んでいます。一方でシニアカテゴリーの登録者数は維持・微増傾向にあり、生涯スポーツとしてのサッカー文化の根付きが伺えます。2025年度の活動は4月6日の総会からスタート、加盟団体代表者69名のうち51名が集いました。その後常任理事会を計4回開催し、地区内のサッカー環境の整備や課題解決に向けた具体的な協議を重ねました。

第2種(高校生)年代の登録者数が  
5年で半分に激減

2019年:305名



2024年:154名

「合同チーム」とクラブ移行による  
チーム編成の加速

第3種(中学生)・第4種(小学生)では単独チーム編成が  
困難となり、地域を超えた連携がすすんでいる

シニア種は維持・微増で  
生涯スポーツ化が定着

若年層が減少する一方で、シニア総の登録は安定しており、  
年代を問わずサッカーを楽しむ文化が定着している



## 各カテゴリーの活躍と実績

各種別委員会では計画に基づいて事業が展開されました。

第1種では第23回道東ブロックリーグにFC網走とFCコパンが参戦し、両チームともに北北海道ブロックリーグへの残留を果たしました。

第2種では遠軽高校が高校選手権北海道大会に出場し、1回戦で道科学大高校をPK戦の末に破る健闘を見せました。第3種ではクラブユースU-15選手権でFC網走U-15が3回戦進出、また、U-15フットサル道東ブロック大会においてJOGATURAが見事に優勝を果たしました。

第4種ではU-10北北海道大会において斜里サッカースポーツ少年団やEVO.KITAMIが決勝トーナメントに進出する成果を上げました。

女子では、11月の全道女子ユース(U-15)フットサル選手権大会においてFC網走メニーナ・ラペーナ・ロッカフォルテ合同チームが予選を勝ち抜き、全道ベスト8に進出する快挙を成し遂げました。

## 今後の強みと展望

次の世代のために「アクセス・フォー・オール～いつでも・どこでも・だれでもサッカーとつながれる環境～」をいかにつくっていくかが、私たちが向き合うべき課題です。

課題解決に向けて、まずは自分たちの持つ強みを活かしていきたいと考えています。

まずは豊かな環境です。豊富な天然芝のグラウンドとともに、遠軽町や紋別市に整備された人工芝のグラウンド、さらに美幌町や紋別市に整備された屋内人工芝施設を活用し、シーズンを通してサッカーができる環境を整えていきます。また、秋春制に移行するJリーグやWEリーグのキャンプ地となることも決まっており、日本トップレベル選手たちとの触れ合いを通して地域のサッカー熱がさらに高まるものと期待しています。次に挙げられるのは若い指導者の存在です。育成年代に当地区で育った選手たちが成人しコーチとして地元に戻って子どもたちを指導する、そんな嬉しい循環が生まれている地域があります。若い指導者たちが指導の質をさらに向上させることでさらに良い選手が育つとともに、その循環を次の世代に繋いでいけるものと期待しています。キッズの取り組みも重要です。各地で幼稚園巡回活動や少年団主催のキッズサッカー教室など、普及活動が精力的に展開されています。こうした活動を組織化し、さらに効果的に展開していきたいと考えています。

技術委員会事業では、U-12秋季交流大会で過去最高成績(2位トーナメント2位)を収め、1名がMIP賞を受賞しました。道東トレセンキャンプには全カテゴリー合わせて16名が参加し、女子U-12から1名が北海道トレセンエリートキャンプへ選出されました。

指導者養成ではD級講習会やリフレッシュ研修会が開催され、B級・GKレベル2取得者への補助も行われました。

審判委員会ではユース審判員の全道・全国大会等への派遣や、オンラインおよび実技を交えたWEB勉強会・研修会を精力的に実施しました。

フットサル委員会ではフットサルフェスティバルや社会人フットサルリーグをはじめ、オータム・ウインターなど各大会の運営や、全道大会への地区予選・選抜派遣を行いました。

シニア委員会ではO-40リーグおよびO-50リーグを開催したほか、フェスティバルや全道大会へも積極的に参加しました。

移動距離が長いことによる保護者への負担増や、諸経費の負担増など、解決しなければならない課題もあります。各地区協会の取り組みを参考にさせていただきながら、課題解決に向けて努力していきたいと存じます。何卒よろしくお願いします。



強み1:充実した環境施設とJリーグ等のキャンプ誘致



強み2:地元出身の若い指導者による育成循環



強み3:キッズ・幼稚園等への普及活動組織化



オホーツク地区サッカー協会  
理事長 斎藤 正倫

# 宗谷地区で 出来ること 日本のてっぺんを 熱くする



宗谷地区サッカー協会 理事長兼技術委員長 本山 哲司

## 宗谷地区サッカー振興計画

転出や自然減による人口減少が加速し、深刻な状況となっている宗谷地区ですが、熱き関係者たちの思いで「サッカー人口を増やし、質を上げ、老若男女すべての世代でサッカーに関心が持てる」をテーマに活動しております。

### 8つの重点項目

#### 育成・普及

#### 1. 次世代のサッカーファミリーを育む

離島を含む管内全幼稚園、保育所を最低1回は巡回する。また、幼稚園児を対象にした、サッカースクールを開催する。



巡回指導を通じてサッカーの楽しさを伝える

#### 2. 少年団への入団促進

巡回授業から少年団への入団のきっかけを作り、低年齢からサッカーに携わる機会を創出する。



サッカーを始めるきっかけを、もっと身近に

#### 3. 回数が、未来を切り拓く

トレセン活動を頻繁に行い、常にサッカーを考えさせる環境づくりを構築する。

#### 4. 全道基準で、チームを鍛える

全道大会やブロック大会で、他地区のチーム・個人と戦えるチームの育成。



## 5. 持続可能な活動を支える仕組み

単独チームが作れず、リーグ戦が開催できなかった社会人チームの活動の場を提供するため、宗地区独自の1～3種(トレセンチーム)及び女子チームを含めた合同リーグの創設。

## 6. 審判員の確保と育成

リーグ戦の増加にあわせた審判員の確保と、育成・質の向上。

## 7. 育てる力を、育てる

指導者・チーム関係者の質の向上。MWO・CWO取得に向けた意識改革。



## 8. 地域一体感の醸成

地区協会関係者がコミュニケーションを図り、情報交換できる交流の場の設定。

すでに取り組んでいる項目もありますが、それぞれを強化・発展させ、重点項目として活動していく。

各地区、課題はあろうかと思いますが、サッカーファミリー全員で北海道を盛り上げていきましょう。

「日本のでっぺんを熱くする」をテーマに宗谷地区はこれから歩みを進めていく次第です。



宗谷地区サッカー協会  
理事長兼技術委員長 本山 哲司



# 活動状況と持続 可能な事業 運営への課題

## 競技の魅力と連携で広がる 自治体スポーツの未来

北海道自治体職員サッカー連盟 理事長 八木 康年

### 回復の兆しと熱戦の記録

#### 1. 昨年度(2025年度)事業報告

昨年度における当連盟への加盟登録数は33自治体となり、コロナ禍以降、登録チーム数は徐々に回復傾向にあります。

・第55回全道自治体職員サッカー選手権大会(6月／釧路市)

参加チーム数は13チームとやや少数での開催となりましたが、限られた交代要員の中で熱戦が繰り広げられました。結果は、優勝：札幌市役所、準優勝：函館市役所、3位：釧路市役所、4位：室蘭市役所となり、上位2チームは7月に沖縄県で開催された全国大会に北海道代表として出場し、健闘いたしました。

・全道自治体職員フットサル大会(北ブロック：11月／中標津町、南ブロック：1月／札幌市)

北ブロック大会は参加3チームと厳しい状況ではありましたが、北広島市役所が優勝を果たしました。一方、南ブロック大会には21チームという多くの参加をいただき、活気ある大会となりました。その中で少数精鋭の戦いを見せた名寄市役所が、昨年度に続き見事連覇を達成いたしました。

コロナ禍からの回復

33自治体



#### 第55回全道自治体職員 サッカー選手権大会

(6月/釧路市)参加13チーム

|     |       |
|-----|-------|
| 優勝  | 札幌市役所 |
| 準優勝 | 函館市役所 |
| 3位  | 釧路市役所 |
| 4位  | 室蘭市役所 |

#### 全道自治体職員 フットサル大会

【北ブロック】(11月/中標津町)参加3チーム

|    |        |
|----|--------|
| 優勝 | 北広島市役所 |
|----|--------|

【南ブロック】(1月/札幌市)参加21チーム

|    |       |
|----|-------|
| 優勝 | 名寄市役所 |
|----|-------|

# 全道大会の着実な実施と全国大会への挑戦に向けた事業展開

## 2. 今年度(2026年度)事業計画

今年度もサッカー、フットサルともに以下の通り全道大会の開催を予定しております。

### ・第56回全道自治体職員サッカー選手権大会

期日：2026年6月12日(金)～14日(日)の3日間

会場：札幌市

※本大会の上位チームが出場する全国大会は、7月24日(金)より6日間、栃木県宇都宮市(全国32チーム参集)にて開催予定です。

### ・全道自治体職員フットサル大会

【北ブロック】10月31日(土)～11月1日(日)／帯広市

【南ブロック】2027年1月23日(土)～24日(日)／室蘭市

## 競技環境の変化を力に変える持続可能な発展への挑戦

### 3. 当連盟の現状と今後の課題

全体の加盟登録チーム数に回復の兆しが見える一方、各自治体・各チームの足元の事情に目を向けると、深刻な「選手確保の難しさ」に直面しております。近年は単独でのチーム維持が困難となり、合同チームを編成して大会に出場するケースが増加しています。職員の年齢構成や採用状況を鑑みても、この傾向は今後さらに強まるものと懸念されます。

当連盟といたしましては、この環境変化を真摯に受け止め、合同チームの参加規程整備や運営サポートなど、時代に即した柔軟な対応を模索してまいります。これからもサッカーとフットサルが持つそれぞれの魅力を最大限に引き出し、より多くの公務員がスポーツに触れ、心身の健康増進や自治体間の交流を楽しめる事業運営を目指してまいります。



北海道自治体職員サッカー連盟  
理事長 八木 康年

# チャレンジド サッカーの取組 誰もが輝ける舞台へ



北海道チャレンジドサッカー連盟 会長 佐橋 正智

## 設立から未来への架け橋

### 1. すべての人が「ずっと続けられる」場所を

2002年2月に北海道ハンディキャップサッカー連盟として発足し、主に知的障がいの方たちにサッカーの楽しさ、サッカーを通じた成長や希望を享受するための活動を続けて参りました。人気上昇のJリーグや日韓共催ワールドカップ等で、日本中がサッカー熱で盛り上がる中、ハンディを抱えた人たちにも「サッカーをしたい」というニーズが増えていくことはごく自然のことでした。地域の少年団や学校の部活動に入っても、監督やコーチの指示が理解できない、ミーティング等で話している意味がわからない、それらにより身体的能力は高くてもチーム

の戦術に合わせた動きができないなど、障がいに起因した様々な困難に直面し、中には自然とサッカーから離れてしまう現状もありました。また、高等支援学校の部活動では、思う存分サッカーを楽しみ、技術やプレーの上達も進みましたが、自分たちの力を試す大会や対外試合の場が少ないという現状もありました。それらのニーズに応えるべく、本連盟が発足し、サッカーが好きな人たちがずっとサッカーを続けられることができるよう、今日まで活動を続けてきました。

## 多様な交流と挑戦

### 2. 昨年度の主な活動

昨年度は、主要な大会として小学生から社会人を対象にした11人制大会・8人制大会・フットサル大会、高校生を対象とした高等養護学校大会(昨年は8人制)、交流事業としてU18フットサル交流会を実施しました。また、チームに所属していない小中学生も含めて対象としたジュニア交流会、同様に高校生以上を対象にしたサッカーフェスティバル、年代問わず女性を対象とした女子サッカー教室を実施しました。旭川地区でも、サッカー教室とフットサル教室を開催しています。また、本連盟が主管となり、道内で活動する各障がい種別の団体と

共同でインクルーシブフットボールフェスタ2025を開催し、サッカーを通じて誰もがスポーツの楽しさを享受するよう努めました。また、1月には静岡県藤枝市で開催された「もうひとつの高校選手権」に、北海道・東北地区予選で勝ち抜いた札幌あいの里高等支援学校が2年連続で出場しました。ちなみに予選は、札幌で岩手県3校合同チームと決定戦を行い、勝利して代表をつかみ取っています。今年は青森県弘前市で予選開催の予定です。

## U18選抜活動の試行から本格展開へのステップ

### 3. U18の取り組み

昨年度、当初予定にはなかったのですが、高校生年代の選抜チームを試験的に編成しました。8月上旬のサッカーフェスティバルの参加者を中心に、何人かの選手を選抜し、何回かの練習を経て、10月に実施した北海道・東北予選会で、予選出場校と交流試合を行いました。昨年は、試験的な取り組みでありましたが、今年度からは計画的に取り組み、連盟加盟の各校の協力をもらいな

がら、8月から練習を開始し、遠征も含めた対外試合等の設定ができればと準備中です。安全な移動手段や経費負担等の課題は大きいのですが、選手たちの成果を発揮する場として何らかの場をつくりたいと考えています。この取組が定着すれば、将来的には本格的なトレセン活動へとステップアップさせたいと考えています。



# 自由に楽しむサッカーへ

## 4. 2026年度の取り組み

今年のスローガンを「Free Enjoy Football」と決めました。「自由に楽しもう、フットボール」「楽しみ方は自由だ、フットボール」という意味を込めており、誰でも気軽にサッカーを楽しもうというメッセージも含んでいます。サッカーそのものばかりではなく、サッカーを通じての仲間意識や身体心地よさ、家庭や学校・職場以外での活動の充実等々、個々の目標や期待を持ってサッカーに関わることができればと思います。

小中学生以下を対象にサッカー教室を開催し、楽しいと実感することを重視し、年代が上がるにつれ「勝ちたい・上手くなりたい」というニーズと「サッカーを楽しく行いたい」というニーズの両方をかなえていくことを、今年度も継続して目指します。本連盟が主催する各大会でも、

優勝・勝利を目指すグループと楽しむことを目指すグループに分けて運営し、個々の障がいの程度やモチベーションに適した試合方式を設定していきます。また、チームに所属していない人や部員の少ないチームで活動している人なども、大会への参加はオープンにしておき、他チームとの合同や連盟推薦チームの編成等で配慮していきます。

その他の活動として、チャレンジドサッカーフェスティバル、女子サッカー教室、インクルーシブサッカーフェスティバル、旭川地区サッカー教室・フットサル教室、高校生年代を対象としたフットサル交流大会等を予定しています。連盟としては、可能な限り毎年の活動を継続するということを重要視しています。

### 競技志向



### エンジョイ志向



## 競技継続と環境維持への挑戦

### 5. 課題

毎年のように挙げられる課題ですが、サッカーに取り組む人(チーム)の減少です。コロナ禍を節目に、ジュニアチームや社会人チームが激減し、それぞれのカテゴリーでの試合実施が難しくなっています。高等支援学校の部活動も人数の減少が見られ、11人以上の人数が揃っている学校が少なくなってきました。毎年7月に実施している高等養護学校大会では、コロナ禍以降11人制から8人制に変更しています。北海道の高校チャンピオンを決める大会と位置付けていますので、11人制でも多くの学校がエントリーできるように勢いを回復させたいと思っています。

チーム数の減少は財政面にも大きく影響があります。先述のU18の取組でも、対外試合を組む際の経費や運営に携わる人たちへの費用等が大きな課題となっています。ここ数年で、活動に理解をしていただく企業様にご支援をいただけるようになりましたが、スムーズな運営とは言えない状況です。連盟加盟費や大会参加費の値上げなども検討はしていますが、裾野を広げたいという思いと逆行する面もあり、現状維持を続けています。今後、諸経費の高騰が進む中、各チームに負担増をお願いする

可能性もありますが、まずは加盟チームを増やすことに力を注いでいきます。

北海道チャレンジドサッカー連盟は、道内の主に知的障がいの方々にサッカーの場を提供することが大きな使命です。そのために全道各地でサッカーの活動をしている方々やサッカーが好きな方々とつながりを持って、やりたい人みんながサッカーに触れられるよう、今後も活動を継続・拡大できるよう努めて参ります。



北海道チャレンジドサッカー  
連盟会長 佐橋 正智

# 北海道のサッカー・フットサルの未来を共に -ご寄付の報告-



FOOTBALL FAMILY ご寄付いただいた法人のご紹介



北海道物流株式会社

税理士法人 田中会計事務所

富士園産業 株式会社



榊原工業 株式会社



Companies with a period vision



株式会社 誠和工業



日北自動車工業



北海道パルテック株式会社

東亜道路工業株式会社



RESEPAグループ



## 未来につなぐ活動 への投資



## 大会環境の整備



女性活動支援やすきまフットボール開催  
などの事業費の一部として活用されます

企業名入りのインタビューポート作成な  
ど、大会を彩る備品に活用されます

皆さまからのご寄付は、道内サッカー・フットサル事業の  
未来につなぐ活動に使用させていただきます。  
心より感謝申し上げます。



# 各種委員会



- ・第1種委員会
- ・女子委員会
- ・フットサル委員会
- ・財務委員会

- ・第2種委員会
- ・キッズ委員会
- ・技術委員会
- ・夢きたれ特別委員会

- ・第3種委員会
- ・シニア委員会
- ・審判委員会
- ・マーケティング特別委員会



# 1種委員会の現状と取り組みについて

## 第1種委員会



委員長 高木 真一

### 成果と課題を踏まえた競技力向上への歩み

第1種委員会は社会人・大学・高専・専門学校・自治体・自衛隊各関係連盟及び関連委員会のご協力の元、2025年度の各種事業を終了することが出来ました。

第1種所属各連盟主催の全道大会は、道内各連盟・協会関係者のご尽力と参加選手、チームスタッフの熱意により、どの大会も活気のある有意義な大会となっておりました。全国大会においては、第79回国民スポーツ大会サッカー競技（成年男子）において北海道代表チームが第4位という成績を収めることができました。

また、第1種内の各種別においても、全国の強豪との対戦

を経験すること競技レベルの向上が認められており、2026年度は全国上位の成績を収めることを期待しています。

登録チーム数及び全道大会参加チーム数の減少等、第1種を取り巻く環境は厳しさが続いておりますが、2026年度においても所属各連盟で問題点を共有しながら、サッカーを楽しむ続けることを忘れずに競技力及び大会運営能力の向上に向けて努力していきたいと思っております。

## 全国と戦い続けるために

## 第2種委員会



委員長 石尾 浩一

### プレミアリーグ再参戦に向けた課題と展望

北海道のチームは、2023年の旭川実業以来プレミアリーグに参戦できておらず、地域で全国トップレベルの試合を観戦できる機会も失われている。プレミアリーグ参戦はチームの経験向上だけでなく、地域全体の競技基準を押し上げる重要な要素である。日本代表が世界トップ基準を目指し、プレミアリーグ経験者が国際舞台で活躍している現状を踏まえると、プレミアリーグの価値は一層高まっている。JFA2種委員長

会議ではプレミアリーグとUEFAユースリーグの比較分析が行われたが、北海道勢は参戦していないため対象外であった。全国高校選手権の質の向上や年代別代表の成長にもプレミアリーグの存在が影響しており、北海道での開催は地域強化に直結する。北海道のチームがいかにプレミアリーグに参入し続けられるかが課題であり、現状を理解してもらうだけでは差は縮まらない。北海道2種委員会としてリーグの質をさらに高め、再び北海道でプレミアリーグが開催される環境づくりに努めていきたい。

# 新たな時代のサッカー環境整備を

## 第3種委員会



委員長 大石橋 計幸

### 登録減少への対応と持続可能な競技環境の構築

登録選手数・登録チーム数減少の原因を、すべて「少子化」に求めてはいけなと承知しております。北海道全体の第3種年代のサッカー環境を、より一層改善してまいりたいと気持ちを引き締めているところです。

1地区ではリーグ戦を実施することが困難な状況が拡大しています。2026年度中には、トップリーグの所属チーム数等も含めて第3種年代のリーグ戦構造改革を推進することを、指導者の皆様に周知申し上げておりました。

北海道を冷涼地とはいづらい時代となりました。暑熱対策、リーグ戦の実力拮抗等をふまえ、義務教育年代である中学生選手・保護者・指導者、すべての関係の皆様にとって安心安全なサッカー環境の構築を目指してまいります。

引き続きよろしくお願い申し上げます。

## 未来への一歩

### 女子委員会



委員長 中川 綾子

### 北海道における育成と競技環境の充実に向けて

北海道の女子サッカーは男子に比べ競技人口こそ少ないものの、全国的な少子化や競技継続者の減少傾向が続く中であっても、登録人数は現状維持から微増という状況を保っています。HKFA中期ビジョンにおいて女子を重点分野の一つと位置づけていただいており、その方針のもと、女子委員会として独自のビジョンを描きながら環境整備に取り組んできました。2026年度からは新たな施策として「北海道女子サッカーチャレンジリーグ」(北海道女子サッカーリーグ2部に相当)と「北海道女子サッカー育成リーグ」(出場機会の少な

い選手やチームに試合機会を提供)の2つのリーグを創設し、公式戦の場と出場機会を拡充しました。これにより、一度サッカーから離れていた選手が競技に復帰するきっかけも生まれつつあります。

全国でも「U-18女子サッカープレミアリーグ」創設が決定されるなど新たな動きが始まっており、北海道の女子サッカーもその流れと歩調を合わせながら、未来へ向けた確かな一歩を踏み出しています。

# ファミリー拡大を目標に

キッズ委員会



委員長 遠藤 祥悦

## 子どもたちのためのキッズ活動 推進の取り組み

日頃よりキッズ活動を理解していただきありがとうございます。また活動に関して多くの人たちが子どもたちのために関わって頂き本当に感謝申し上げます。

さて、今年度より学童保育へのサッカー教室や小規模地域でのミニサッカーフェスティバルの実施の取り組みを始めます。普段会場が遠く参加できない子どもたちのために少しで

もサッカーができる環境を繕いたいと思っています。また子どもたちが体を動かすお手伝いができたらと考え取り組んでいきます。北海道全体で子どもたちがどこでもいつでもサッカーができる環境をつくっていきたいと思っています。今後ともご支援ご協力お願いします。外で遊ぶ機会が少なくなってきた昨今、サッカーをする環境はとても大切だと思っています。ボールと遊びながらサッカー経験させたいです。

## シニア種の現状と今後について

シニア委員会



委員長 佐藤 英隆

## 生涯スポーツとしての発展

シニア委員会及び道シニア連盟では、全国大会予選となる全道大会から、親睦を目的とした大会まで、競技志向に応じた大会の企画・運営を行っており、2025年度は全事業を予定通り実施することができました。シニア種の登録状況は、登録を開始した2000年の11チーム・340名から増加を続け、2025年度には137チーム・2846名となり、全国的にも有数の規模を誇るカテゴリーへと成長しています。また、北海道最高齢(91歳)の現役選手がプレーを継続していることも、本力

テゴリーの特徴の一つです。少子高齢化・人口減少が進む中にあっても、シニア層は拡大を続けており、北海道サッカー界において重要な役割を担っていると認識しています。当委員会及び道シニア連盟では、競技志向だけでなく「再開者・初心者を受け皿機能」を強化し、親睦大会における参加資格緩和や80歳代・女子シニアの新たなプレー機会創出などを進め、多様なニーズへの対応や参入障壁の低減を図っております。今後もHKFA中期ビジョンに基づき、再開者の掘り起こしとプレー環境の整備を進め、シニアサッカーの更なる発展に努めてまいります。



# 北海道フットサルの展望

## フットサル委員会



委員長 野呂 雅友

## 競技力向上と育成体制強化への取り組み

私は2022年度よりフットサル委員長を務めており、現在3期目を迎えております。日頃より各種大会の運営にご協力いただいております15地区FA、5地区フットサル連盟、運営役員、審判員の皆様に、心より感謝申し上げます。

近年は、15地区FAのフットサル委員長による連携体制を構築し、情報共有や大会主管の調整機能の強化に取り組んでまいりました。また、技術委員会との連携を進め、2026年度には「フットサル部会」を立ち上げ、トレセン活動、選抜チーム活動、指導者養成を含めた育成体制の充実を図ってまいります。

北海道フットサルリーグでは、各クラブによるホームゲーム演出の充実が進み、観客動員数700名を超える試合も開催されました。さらに、エスポラーダ北海道様のご協力により、フリーグ公式戦の前座試合として、全日本大学フットサル大会北海道代表決定戦およびU-18会長杯リーグ北海道代表決定戦を開催することができました。

今後も各地域との連携を一層深めながら、競技力の向上、普及活動の推進、次世代選手の育成に取り組み、北海道フットサル界のさらなる発展に努めてまいります。

## 環境づくりと指導者養成を通して

## 技術委員会



委員長 上田 充士

技術委員会の一環の役割は、選手が成長する環境を構築することと、それを担う指導者を育成することです。選手が成長する環境づくりは、日常のトレーニング環境とバランスの取れたリーグ戦やカップ戦などのゲーム環境が重要となります。更に、現在の人口減少社会にある北海道の現状を考えると、今まで以上にゲーム環境の再構築や普及活動の充実を図る必要があります。誰もがサッカーにアクセスしやすい環境づくりに種別や委員会の垣根を取り払って取り組むことが大切と考えています。そして、その環境を作るのが、セーフガーディングの浸透と一人一人の指導者の成長が鍵であることは、言うまでもありません。

今年度は4年に一度のワールドカップイヤーです。要覧の発行時には、既に日本代表の挑戦の結果が出ていると思いますが、北海道から毎年いい選手が育ち、ワールドカップなどの舞台で活躍する選手が生まれるような地域を皆さんと目指したいと思います。27年1月16日(土)・17日(日)に札幌コンベンションセンターで開催されるJFAフットボールカンファレンスに、皆さんもお誘いあわせの上是非ご参加ください。

# 2026年度審判委員会の方針について

## 審判委員会



委員長 藤井 陽一

### フェアで安全な試合を支える審判の挑戦—北海道サッカーの質向上と次代への育成に向けて

審判委員会は、2026年度より全てのサッカーファミリーが「フェアで、安心・安全な試合」を楽しめることを第一に、「審判員・指導者が成長と楽しさを実感できる環境を構築し、公正で質の高いゲームコントロールを通じて、北海道サッカーの発展への貢献」をミッションに掲げ、「高いゲームコントロール力の実現」「育成序列の確立と強化」「審判員が成長と楽しさを実感できる環境整備」という3つの柱を軸に、活動してまいります。

現在、次代を担う審判員の確保と定着が急務となっています。この課題に対し、今年度より新たに「ユース審判員普及&育成プロジェクト」を始動し、審判活動の「入口」を広げるとともに、研修会を通して審判の醍醐味を体感できる場を創出していきます。審判員と審判指導者が共に成長し、次代を担う人材を育成することで、北海道のフットボールを強く支えていければと考えています。皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 持続的成長を見据えた財務改革の推進

### 財務委員会



委員長 後藤 猛

### 限られた資源の有効活用と組織の活性化を目指して

財務委員会では、従来の前年踏襲型の事業計画を漫然と継続するだけでは、将来的な停滞を招く可能性が高いとの認識に立ち、持続的な発展に向けた財務運営の見直しを進めています。その中核となるのが「コストダウン」と「選択と集中」、そして「新たな取り組みによる収入獲得」という二つの軸です。限られた資源を有効に活用し、必要性や効果を精査したうえで事業の重点化を図るとともに、固定費や運営費の見直しによる効率化を推進します。加えて、従来の枠にとられない新規事業や収益機会の創出にも取り組み、安定し

た財政基盤の強化を目指します。これらの施策を通じて、組織全体の活性化と持続可能な成長を支えていきます。

# 夢きたれ特別委員会について

## 夢きたれ特別委員会



委員長 鷲津 裕美

## 施設価値向上と持続的運営への取り組み

夢きたれ特別委員会は、2024年度に発足し、施設をより効果的に活用するための企画や運営を行い、施設運営の課題を整理し、その解決策を検討するとともに、(公財)北海道サッカー協会がこの施設を通じてどのように社会へ貢献し、発展していくかを、3年間の活動期間の中で示すことを使命としています。2025年度は宿泊者数が前年度の約2倍となり、施設へのニーズが明確になりました。これを踏まえ、持続的

な運営に向けた収益確保を見据え、経営計画を策定中です。また、マーケティング委員会と連携し、利用者満足度の向上に向けた取り組みを進めています。今後もサービスの質を高め、安心して利用できる環境づくりを進めながら、「施設の有効活用」を通じて、皆さまに親しまれる施設を目指していきます。

# 企業とサッカーがつながる価値創造

## マーケティング特別委員会



委員長 八島 隆志

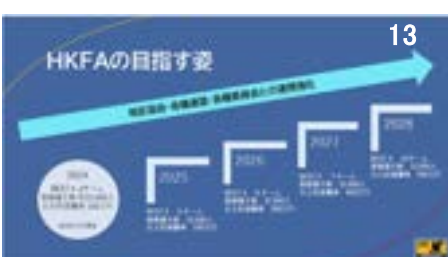
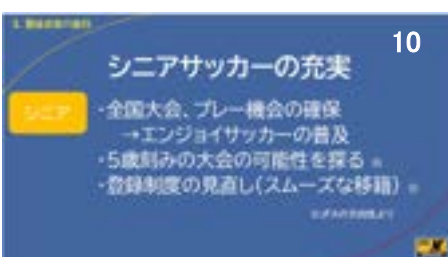
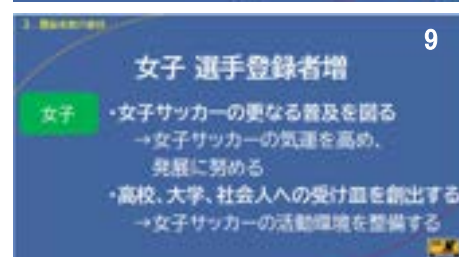
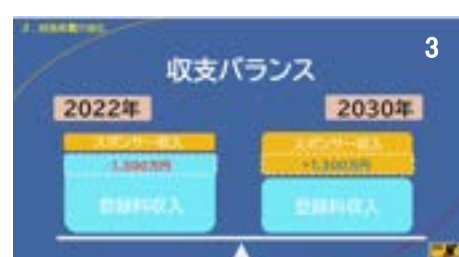
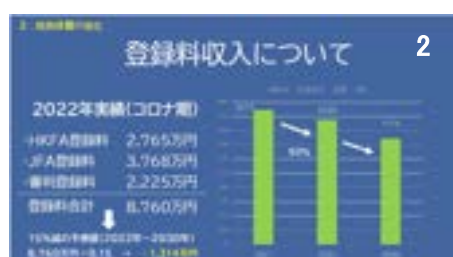
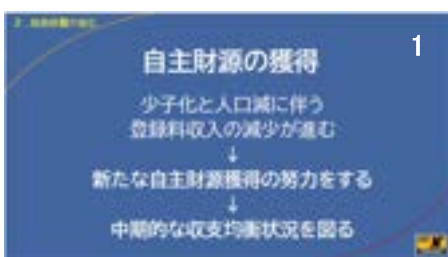
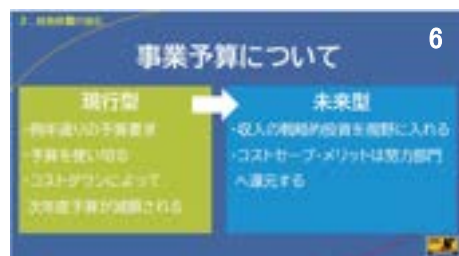
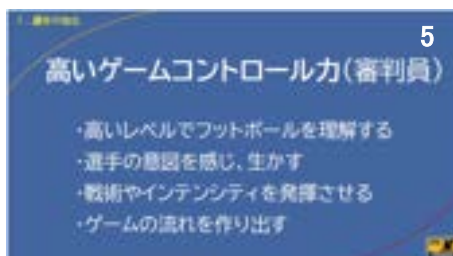
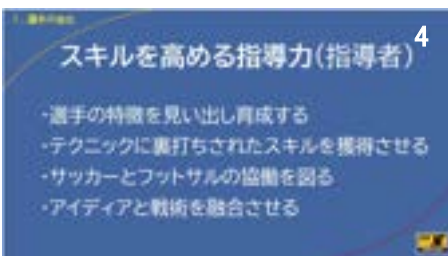
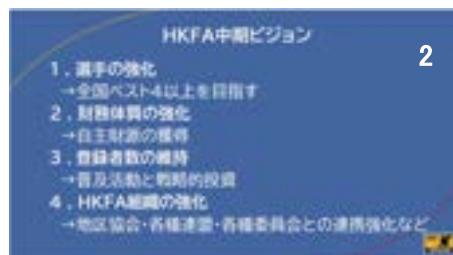
## 企業・地域と共創する サッカー振興と社会貢献の実践

2025年度マーケティング特別委員会では、HKFA中期ビジョンの理念のもと、企業とサッカーを通じた新たな価値創出に取り組みました。継続企業・新規企業への訪問を積極的に行い、寄付金の獲得だけでなく、対話を重ねることで企業と競技現場がつながる関係づくりを推進しました。

活動面では、豊平川花火大会翌日のゴミ拾い活動をはじめとする社会貢献を通じて地域との結びつきを強化するとともに、スポンサー企業名入りインタビューボードを制作し、大会での活用を通じて、企業と選手・大会を結び付ける機会を創

出しました。また、女子サッカーの普及を目的とした冊子制作や大会環境整備など、寄付金を活用した取り組みにより、企業支援が競技発展につながる好循環を生み出しました。年間では約20社を訪問し、131万円の寄付金を確保するなど一定の成果を上げることができました。これらの活動を通じて、企業・地域・サッカーが一体となった持続的可能な連携基盤の構築に寄与することができました。

北海道サッカー協会は、協会の描く姿を  
フットボールファミリーの皆様と共有するため、  
**HKFA中期ビジョン**を制定いたしました。



(公財)北海道サッカー協会HPでも公開しています



# 15地区サッカー協会



- ・(一社)札幌地区
- ・空知地区
- ・(一社)十勝地区
- ・北空知地区

- ・函館地区
- ・旭川地区
- ・室蘭地区
- ・道北地区

- ・小樽地区
- ・釧路地区
- ・苫小牧地区
- ・根室地区

# サッカーの魅力を発信していくために

昨年度、(一社)札幌地区サッカー協会(以下:本協会)では、グラスルーツ事業部会の立ち上げについて、(公財)北海道サッカー協会(以下:HKFA)の2025年度要覧にて報告をさせていただきました。その後、HKFAも、気軽にサッカーに触れる機会を創出したり、サッカーファミリーを拡大したりする目的で「すきまフットボール部会」を立ち上げました。各協会が抱えているサッカー人口、登録者の減少という問題を解決するための手立てとして、サッカーの魅力を一人でも多くの方に知ってもらうこと、他のカテゴリーや委員会の活動を知ってもらうことは、これからの各協会の活動に必要となってくることは、言うまでもないことです。

本協会グラスルーツ部会は、2025年度いくつかの事業に挑戦しました。複数のカテゴリーの活動を同じ会場で行うことで、他のカテゴリーの様子を参加者や指導者、引率者にも知ってもらうための「SFAフットボーラー大集合」という事業もその一つです。キッズからシニアまでが一堂に会することで、どの世代でもサッカーを楽しむ環境が用意されていることを知っていただくことができました。また、「札幌ウォーキングフットボールクラブ」のお力をお借りした事業を通して、ルールという環境を工夫することで、誰もが同じピッチで一緒にフットボールを楽しめるということを伝えることもできたのではないかと考えています。また、幼稚園・保育園の巡回指導やキッズ年代向けの事業の充実を図ることで、幼いうちから運動の楽しさやサッカーの魅力



に触れる機会も提供することができました。

2026年度は、ワールドカップサッカー北中美大会があったり、Jリーグの秋春制移行に伴う北海道でのJチームのキャンプが予定されていたりと、北海道サッカー界への追い風が吹くことが予想されています。本協会としても、その追い風を味方に、HKFA、各地区協会と手を携えながら、「グラスルーツ事業」「すきまサッカー」の充実を図り、サッカーの魅力を発信し、サッカー人口、登録者の減少の歯止めとなるような事業を進めていきたいと思います。



一般社団法人  
札幌地区サッカー協会  
専務理事・キッズ委員  
佐賀 主昌

# 広がる機会を力に、 地域と未来を育てる



今年はワールドカップ・イヤーであり、各国の戦術やトッププレイヤーの技術を観る機会も増えていきますし、競技規則についての理解も深まるかと思えます。また、Jリーグの秋春制が始まり北海道はシーズン前のキャンプ地として多くのJクラブが訪れます。子どもたちがJリーガーを間近に、そして直接触れることによって大いに刺激を受けることでしょう。次の日にはグラウンドでJリーガーや各国代表の選手になりきって仲間たちとボールを蹴る光景が目に見えます。ただ、これを“ほほえましい”だけで終わらせるのではなく、すそ野を広げる一つの機会とし、将来彼らが様々な形でサッカーに関わることで地区・地域を盛り上げる人材になることを期待しています。地区の事業の実施やフェスティバル等により女子の普及にも力を入れています。

クラブ・ウェルフェアオフィサーについては2～4種までのクラブで配置されるようになりました。今後は1種をはじめ、全チーム配置へ向けての活動を続けていきます。

実際の試合の場面では、うみしんフットボールパークの天然芝およびクラブハウスの改修が行われており、完了したのはこれまで以上によりよい環境でサッカーができるようになります。

渡島・檜山管内の人口も減少しておりますが、活動が縮小するのではなく、高い熱量で取り組みを継続していきたいと思えます。

今年度も皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



函館地区サッカー協会  
理事長 山下 浩司

# 課題克服と発展を 目指す小樽地区の歩み

小樽地区では、少子化の進行・他地区への移籍などを背景として、チームの合同化など各種別で競技環境の再構築を課題として取り組んでいます。

競技面では、25年度はDIVERTIが全国0-30女子サッカー大会にて3位、北照高校(男子)が全道U-17フットサル選手権大会で優勝し、全国大会進出。また、CANALE小樽、北照高校(男子・女子)、Regaris小樽U-15、小樽corse'rioが、各トップリーグに参入しており、地区としての競技レベルの高さを維持しております。

組織面でも活発な活動を行っており、審判委員会はオンライン研修やリフレッシュ研修を通して、地区の審判員の気づき・向上を目指しております。2月14日には元国際審判員西村雄一氏を講師にお迎えし、講演会・審判研修会を行い、世界レベルでの審判員としての心構えをレクチャーいただき有意義な時間を共有することができました。技術委員会は、各種でトレセン活動を行い、選手の育成・発掘を行い、上級ライセンス取得支援・研修会を通じて指導者の質を高めています。規律委員会では、ウェルフェアオフィサー講習会を通じて安心・安全な試合環境づくりに尽力しております。また、チームにクラブウェルフェアオフィサーの配置も必須として啓発活動しております。

普及活動にも力を入れており、2日間日程で小樽フットサルカーニバルを開催し、キッズからシニアまで幅広い世代で交流を実施。キッズ委員会もフェスティバルや園巡回指導を通じて、子供

たちに運動の楽しさを伝え、指導者養成にも力を注いでおり、フレンドリーグを開催しU-10以下の子供たち楽しく競い合うことができる環境づくりを進め、普及の裾野を拡げております。

26年度は、望洋サッカー・ラグビー場の天然芝の改修工事も始まり、一般開放も含めて地域とスポーツのつながりを深めております。

小樽地区は、2033年の創立100周年に向けて、各委員会との連携を強化し、幼児からシニアの選手をはじめ、指導者・審判員、サポーターまで含めた「小樽地区サッカーファミリー」を強固にし、皆様と力を合わせ持続可能な協会の運営を進めたいと考えております。



小樽地区サッカー協会  
理事長 當宮 行博



# 新体制の始動と 次世代育成への挑戦

4月に理事総会を開催し、役員改選をはじめとする組織編成を行い、事務局の新体制がスタートしました。新たな体制のもと、さらなる事業の充実と発展に向けて研鑽を重ねてまいります。当協会では、会長を中心に昨年度より企業・団体の皆様へ活動基金へのご協力をお願いし、普及・育成事業を支える基金の創設に取り組んでおります。これはHKFAの活動方針を踏襲したものであり、ジュニア、ユース、女子年代へのさらなる支援の充実を図ることが目的です。また、今年度からはキッズ担当委員会を新たに設置し、「すきまフットボール事業」の一層の普及と発展を推進してまいります。

協会事業として、3年目を迎える日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会において、今年度も「空知ラウンド」を担当する予定です。会場は夕張サングリンスポーツヴィレッジおよび栗山ふじスポーツ広場の2会場を予定しており、協会一同、微力ながら大会の成功に向けて準備を進めております。また、1種登録チームのBTOP北海道は、北海道サッカーリーグおよび北海道サッカー選手権大会で優勝するとともに、天皇杯 JFA第105回全日本サッカー選手権大会や全国地域サッカーチャンピオンズリーグ、国民スポーツ大会4位(滋賀県開催)で優秀な成績を収めました。これらの功績により、北海道サッカー協会からHKFAビジョン賞として表彰されました。3種年代においては、「岩見沢FC拠点校」が第64回北海道中学校サッカー大会で準優勝を果たし、空知管内からの全国大会出場としては40年ぶりとなる快挙を成し遂げました。また、中学女子サッカーチーム「岩

見沢FCルファヴェニール」においても、第33回北海道U-15女子サッカー選手権大会兼高円宮妃杯JFA全日本U-15女子サッカー選手権大会北海道大会で優勝、さらに第17回全道U-15女子フットサル選手権大会でも優勝を果たし、それぞれ全国大会への出場権を獲得しました。これらの成果は、選手たちの日頃の努力はもとより、指導者、保護者、関係各位の献身的な支援と、地域との連携を基盤とした独自の取り組みの積み重ねによるものであります。部活動の「地域移行」に対応した拠点校方式の先行導入をはじめ継続的な育成活動、さらには女子トレセン選手や「なでしこサッカースクール」の開催など、普及啓発と連携強化に向けた地道な取り組みの成果が結実したものと考えております。

一方、人口減少に伴う少子化が進行し選手数の減少など多くの課題に直面しておりますが、今後も競技力向上と普及活動の両輪を大切にしながら、地域に根ざした持続可能な育成環境の構築に努め、空知サッカーのさらなる発展に繋げてまいります。



空知地区サッカー協会  
理事長 磯辺 正道

# 地域連携と育成強化が生んだ成果の一年

2025年は、大きく4点の活動が特筆されます。

1つ目は、10月・11月に開催された第10回北海道ブロックカブスリーグ決勝大会兼北海道カブス2部リーグ参入戦において、B.N.F.C U15が優勝し、北海道カブス2部昇格を果たしました。2026年からは、北海道コンサドーレ旭川U-15とTRAUM VITA FCの3チームが北海道カブスリーグに参戦することになりました。2026年度の活躍を期待したいと思います。

2つ目。8月29日(金)～9月2日(火)、旭川市と姉妹都市である韓国水原市との相互交流「日韓親善少年サッカー交流事業」が、韓国・水原市にて行われました。18回目の交流事業にあたり、旭川地区の小学生18名、中学生18名、役員12名・スタッフ6名の一行54名が韓国・水原市に行き、小・中学生、役員・指導者の交流試合を行いました。中学年代は、GS キョンス倶楽部と対戦し、水原の中で何十とあるクラブチームの中で競争している選手たちの質の高さを感じることができました。

3つ目。旭川地区サッカー協会チャレンジ委員会が直轄し、障害者就労支援事業所「なつみかん」の運営法人『希望の杜の会』、並びに、クラブ内に障害者サッカー部門を設置している『BIANCO NERO FC』との事業提携により2019年から活動している「B.N.F.C なつみかん」が、9月15日(月・祝)に栗山町で行われた第24回北海道チャレンジサッカー大会(8人制)において初優勝を果たしました。

また、令和8年2月15日(日)には、旭川市と協力して『ウォーキングフットボール in 旭川』を初開催しました。9歳から75歳まで幅広い年代40名の参加者を得て、楽しい時間を過ごしました。北海道サッカー協会が提案している「すきまサッカー」の充実や余暇支援、そして、様々な人たちがサッカーを通じてつながることのできる環境整備に対するうれしい結果であり、イベントとなりました。

4つ目。10月には、天然会場の整備ボランティアに、819名の参加を得て行うことができました。12月18日(木)には、「花咲球技場の改修」「東光スポーツ公園球技場の人工芝の張り替え」についての意見書を旭川市に提出させていただきましたが、それらも含め、まだまだ解決しなければならないものが多く存在します。これからも、サッカーを楽しくプレーするための環境整備のためにできることを一つ一つ取り組んでいきたいと思っています。



旭川地区サッカー協会  
理事長 對馬 紀一

# サッカーを通じてつなぐ、 世代と地域の未来

釧路地区を取り巻く環境は、人口減少や少子化の影響を受け、サッカー人口の減少という大きな課題に直面しています。しかし、そのような状況だからこそ、キッズ年代からシニア年代まで、種別を超えて多くの関係者が力を合わせ、サッカーの普及と発展に取り組んでいます。

サッカーは単なるスポーツではなく、人と人をつなぎ、地域に活気を生み出す力を持っています。釧路には、漁師町ならではの人情や活気、困難に負けない力強さがあります。そうした地域の魅力を大切にしながら、サッカーを通して子どもたちの成長を支え、世代を超えた交流を生み出し、地域全体を元気にしていきたいと考えています。「サッカーの力で釧路を盛り上げる」という思いを共有しながら、キッズから1種・シニアまでが一体となり、活気ある釧路の再興を目指しています。ここでは、各種別の主な取組を紹介します。

## 【キッズ】

毎年、4～6歳を対象としたサッカースクールを開催し、サッカーを通じた運動能力の向上や身体を動かす楽しさを伝えています。

## 【女子】

U-12・U-15・U-18の各カテゴリーでリーグ戦や大会に参加しています。また、トレセン活動の継続やSNSを活用した情報発信を行い、女子サッカーの普及に取り組んでいます。

## 【第4種】

U-9～U-12のカテゴリーでリーグ戦や各種大会を実施しています。また、友好都市である千葉県八千代市との交流大会を通して、地域を超えた交流を深めています。

## 【第3種】

リーグ戦や中体連、クラブユース選手権に参加しています。中学校部活動からクラブチームへの移行も進みつつあり、地域移行に向けた取組が進められています。また、フットサル北海道代表決定戦が本地区で開催されました。

## 【第2種】

道東ブロックリーグ、高体連、新人戦に加え、新たに選手権大会が釧路合同で開催されました。また、釧路北陽高校が静岡県で開催された第12回全日本ユース(U-18)フットサル大会に出場しました。

## 【第1種】

道東ブロックリーグや社会人リーグに参加し、競技力向上に努めています。また、フットサル全日本選手権大会北海道代表決定戦が本地区で開催されました。

## 【シニア】

昨年度に引き続きプレミアリーグを開催しました。さらに、ウォーキングフットボールを実施し、年齢・性別・障がいの有無を問わず、多くの方々にサッカーの楽しさを体験していただきました。

2026年度も各種別の大会に加え、高体連全道大会やフットサル全道大会など、多くの大会が釧路で開催されます。これらの大会は、釧路地区のサッカー関係者が種別を超えて支え合うことで実現しています。人口減少や少子化が進む中であっても、サッカーには人を育て、人と人をつなぎ、地域に活気を生み出す力があります。私たちはこれからも「サッカーの力で釧路を盛り上げる」という思いを胸に、世代や種別を超えたつながりを大切にしながら、活気ある釧路の再興に貢献してまいります。



釧路地区サッカー協会  
理事長 高橋 健太

# サッカーを通じた地域活性 と今後への課題

平素より本協会の活動に際し格別のご高配を賜り御礼申し上げます。

6月12日から、みなさんが待ち望んでいた4年に一度の大きなイベントが始まりました。今朝日本代表の初戦であるオランダ戦が行われ、接戦の末土壇場で追いつくという価値のあるドロー発進となりました。残り2戦は連勝して、決勝トーナメント進出を決めてもらいたいところです。日本の初戦の結果がわかっていると言う事は、この原稿が締切り当日に書かれている事になります(笑)。

さて、Jリーグのシーズン移行に伴い、北海道の各地自治体によるキャンプの誘致活動が積極的に行われています(帯広市はあまり積極的には誘致してないようですが...)。

十勝では震災以降15年間にわたり、U-15クラブユース選手権大会を開催させてもらいました。本WCにも出場している、久保選手、堂安選手など代表で活躍している選手が多数十勝で試合をしてくれました。日本のトップレベルの試合を直接見る事ができたのは、十勝の同世代の選手にとって刺激となったことと思います。

また、チームスタッフ、選手、応援に来られた父兄等関係者による経済効果は大変大きく、受入れた初年度には、精米したお米が市内で不足したため、精米所が慌てて精米をしたという話もありました。

良いことがある反面、天然芝のグラウンドで1日3試合を連続3日間行うことによる、芝へのダメージは相当な物であり、大会終了後に別の大会を開催する際に、

グラウンドが使えず会場を変更せざるを得ないなど、地元のスタッフ、選手に負担をかけてしまうもありました。

キャンプの誘致には、このようなことが起こることも想定されるので、関係各所と綿密な調整を行い、判断されればと思います。

苦言を呈すような事を書いてしまいましたが、決して受け入れを否定する意味で書いたのではない事をご理解いただければと思います。

これからも、HKFAはもとより道内各FAの皆様と連携しながら、北海道サッカーの更なる発展に寄与できればと考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



一般社団法人  
十勝地区サッカー協会  
専務理事 大橋 穰



# 伝統を力に変える、 持続可能な組織づくり

2月に「室蘭市の出生数がはじめて300人を割った。」との驚きの報道がありました。また、本地区のサッカーとフットサルの登録数は、2月15日現在で、61チーム(前年比-2)、選手1523名(-150)でした。10年前の登録チームが約100チーム、選手が2519名であったことと比べると厳しい状況になっています。

子どもたちに目を向けてみると、グラスルーツや4種の地道な努力で、人口減・少子化の中、選手減少がゆるやかにになっていると思われます。また、登録していない一般の方がサッカーを楽しむ「フットボールデー」では、参加数が増え「このイベントをもっとやってほしい。」等の声もあり、今年度は2回開催としました。さらに、FC70室蘭が全道大会3連覇で全国への熱い思いをもって活動し続けています。地域人口における登録数の割合が低くない状況は、各種別での努力の積み重ねであると前向きにとらえています。

このような中、活動方針の「すべての指導者のC級スタンダードをめざす」について、C級受講者が増加し、育成への熱意が感じられる状況がうまれてきました。過去に比べると全国・全道トップレベルの成績からは遠ざかっていますが、熱い思いや伝統がなくなつたわけではありません。室蘭地区では、寒風の中、切磋琢磨し、折れない心としなやかな技を育んできました。たとえ時代が移り変わり、地域の姿がかたちを変え、縮小したとしても、グラウンドにしみこんだ汗と入江の芝生に宿る緑の記憶が育んだ「小学生からシニアの選手たちの瞳に宿る全道・全国・世界への熱い思い」が消えることはありません。



この文化を拡充・発展させるため、ビジョン「むろらんフットボールカルチャー」を共有しています。Wピラミッドの効果に加え、各種別の指導者が垣根を越え、交流し、語り合い、学び、勝負していくことで、「育成という背骨」が強固になるものと考えています。

そのためには、協会が持続可能な組織であることが基盤になります。組織・予算・人材育成…課題は山積していますが、10年後を見通した活動が求められています。次の協会を担う世代との協議を真摯に行い、組織体制を充実させ、新しいむろらのフットボールカルチャーをつくっていききたいと思います。今年度もよろしくお願いいたします。



室蘭地区サッカー協会  
理事長 橋本 誠司

# 協会60周年の節目と 未来へつなぐ取り組み

2026年苫小牧地区サッカー協会は60周年を迎えることとなりました。

周年記念行事の一環として向こう10年の協会スローガンを公募して「夢と情熱を未来へ」に決定しました。協会発足から60年、幾多の諸先輩が未来への思いを胸にご尽力を賜り今の私たちがいます。そしてさらに私たちが未来へ夢と情熱を届けていくことが責務と心に誓うところであります。60周年記念の年にワールドカップイヤーを迎え、またJリーグの秋春制により多くのJリーグチームが北海道をキャンプ地とし苫小牧地区にも名古屋グランパスとFC東京の2チームがこの夏訪れます。初年度ということもありどのような展開になるか手探り状態ですが我々としても歓迎ムード作りに全力を傾けているところです。夢と情熱を未来につなげるためにも地区の子供たちがJリーグを身近に感じ今現在登録しているサッカー選手がより一層サッカーを好きになり、また未経験者がサッカーに興味を持てる機会になることを信じ我々が出来る全てのことにチャレンジしたいと思います。

夢と情熱を未来につなぐためにも登録チームと選手の数確保は不可欠であります。全道的にも地区としても非常に困難な状況となっております。苫小牧地区も10年前の登録者数が3214人・チームが139あったのが2025年度は2071人・83チームと登録者数で35%減、チーム数で40%減と大変厳しい状況となっております。

地区としてもあの手この手を駆使して普及活動を進めておりますが抜本的な解決策の解はつかめておりません。少子化・人

口減は現実的に考えて歯止めがかかることはないと思われる中でも減少のスピードや大きさを最小限に止めるためにという視点に立ち情報収集力を高め効果的かつスピーディーな行動が求められます。

普及拡大については以上の通りですが強化の面として2025年度はうれしい結果が複数ありました。ASC北海道が全国社会人選手権北海道大会で優勝。苫小牧高専が全国高専大会北海道予選優勝。ハマナスガールズがJFAガールズゲーム北海道大会と全道フットサル選手権U12女子の部のダブル優勝。AreareaU15が全日本U15フットサル選手権北海道大会優勝と近年の中でも北海道大会の優勝が多く、しかも1種(専門学校)・3種・4種(女子)と種別においても多岐にわたった好成績を得られたのは地区においての強化が実った結果であると受け止めております。

サッカーを取り巻く環境のみならず混んとする社会情勢の中しっかりとしたビジョンをもって夢と情熱を未来につなげていきます。



苫小牧地区サッカー協会  
理事長 野田 篤志

# 工夫と連携で支える 地域サッカーの継続



昨年度の活動を報告いたします。1種では社会人登録チームが1チームのみになってしまいましたが、大学生や高校生のチームを交えて計6チームで交流戦を行いました。フットサルでは、道北ブロックリーグに2チーム参加し、地区リーグは9チームで活動しました。2種は2チームのみでしたが、それぞれ道央ブロックリーグに参戦しました。3種は3チームですが、道央ブロックリーグに1チーム参加し、地区リーグは空知地区と共同開催し、計6チームで行いました。4種は6チームでリーグ戦、カップ戦を行いました。

女子は、本地区にはフットサルのNSレジーナしかありませんが、本地区で主管した第13回熊谷・高瀬杯にU-12の選手20名で参加し、12月の全道フットサル大会U-12女子の部に2チーム参加しました。

シニアでは、3月に本地区主管で開催された全道シニアフットサルオープン大会に40部門2チーム、50部門1チーム、60L部門に1チームが参加し、40部門ではNS VIVIが優勝を果たしました。

ウェルフェアオフィサー関係ですが、全チームではありませんが、ほとんどのチームにCWOを配置することができました。

今年度は各種のリーグ戦や大会の他にブロック大会、全道大会は12月に芦別市で全道フットサル選手権U-12女子の部、3月に滝川市で全道シニアフットサルオープン大会を主管する予定です。

本地区も登録チーム及び選手数が減

少し続けていますが、どの委員会もオープン参加も可能にしたり、カテゴリーや地区の垣根を越えて開催するなど、工夫を凝らして活動しています。今後は、従来から行っているキッズフェスティバルや巡回指導、ファミリーフェスティバルなどの内容を更に充実させ、少しでもチーム・選手数の減少に歯止めをかけることができたらと考えています。



北空知地区サッカー協会  
理事長 鈴木 敏之

# 普及と育成で広げる 道北地区の可能性

道北地区サッカー協会においては、各カテゴリーで一定の登録はあるものの、チーム数および個人登録数が少なく、単独での大会参加が困難なケースも見られます。そのため、合同チームによる予選参加などの対応を行いながら存続に努めているものの、抜本的な解決策の確立には至っていないのが現状です。

これまで道北地区では、競技基盤を強化するためにキッズ年代を対象とした教室やフェスティバルなどの普及活動を継続して実施してきました。最近では参加者も徐々に増え、4種の低学年カテゴリーの活性化にもつながりつつあります。今後も子どもたちがサッカーの楽しさを実感し、保護者にもその魅力を共有してもらえよう、さまざまな工夫を取り入れながら継続的な取り組みを進めていきます。

そのような状況の中、4種女子では登録外の選手も含めて約20名が参加し、昨年度は定期的なトレーニングの実施やローカル大会に参加することができました。この動きを受け、本年度から新たに女子委員会を設置し、各地域で行われている大会への参加や定期練習など、女子選手のモチベーションを維持しながら活動をより積極的に推進していく事となりました。しかし、活動を支えるスタッフが不足していることも課題となっているため、シニア委員会とも連携しながら人材確保に努めるとともに、情報発信を強化し、女子サッカーの普及にも継続して取り組んでいきたいと考えています。

サッカーをこの地域で継続していくためには、楽しさを、世代を超えて共有し、

大人が選手としてだけでなく、審判・指導・大会運営など多様な形で関わり、基盤を支えることが重要です。今後も道北地区協会が一体となって計画的に取り組み、サッカーの魅力を広げる活動を進めていきます。



道北地区サッカー協会  
理事長 谷口 直寿



# 目標を掲げて築く 根室地区の新たな歩み

本年度、根室地区サッカー協会設立20年となります。

設立当初に比べ登録チーム数・選手数は著しく減少傾向にあります。2030年度を見据え、新たに根室地区サッカー協会として、目標を設定しました。

一つ目、「サッカーを通じてみんなを楽しく笑顔にする」サッカープレイヤーだけでなく、試合の観戦者や指導者・家族といった、実際にプレーする人、見る人、支える人全員が楽しみ、笑顔になることで根室地区サッカーファミリーが大きく、強固なものとなること。

二つ目に、「サッカーで活躍する仲間を増やす」暴力や暴言、理不尽な指導をなくし、勝利至上主義にとらわれず、選手が安心して楽しめる場所を守り、喜びや人とのふれあいが体感できる環境を作り出すこと。

三つ目が、「トッププレイヤーを根室地区から輩出する」サッカーに関わる全ての人々がポジティブな体験を共有することで、ファミリーの輪が広がり、競技力の向上や社会全体の活性化（笑顔）へ繋がり、その経験を活かし、トップで活躍する選手・指導者・審判員を輩出すること。大きく3つの目標を掲げました。我々根室地区として、これからの5年間全力で取り組むこととしています。

地域は広いものの人口は他の地区に比べ少ない地区ではありますが、各カテゴリーが目的意識を持ち、地区協会として連携を強化することにより、できることを考え、キッズ、第4種世代

のパワーを第3種・第2種へとつなげていけるよう活動を推進していくことを長期的な取り組みとしていきたいと考えているところです。魅力のあるサッカー活動を推進していくことは可能であると思いますので、さらなる深化推進に向け活動を進めていきます。



根室地区サッカー協会  
理事長 高橋 勇樹

## 夢きたれ

公益財団法人北海道サッカー協会ではサッカーの強化を図るため、トレセン活動の拠点として、また、サッカー愛好者皆様の合宿・研修所として北海道トレーニングセンターハウスを札幌アサッカーミュージアムパーク内に建設し、運営をしています。（2011年4月竣工）



宿泊室



シャワールーム



リネン室



談話室



ミーティングルーム

### アクセス

#### ◆車

雁来インターより約5分  
伏古インター、札幌インターより約10分  
地下鉄東豊線栄町駅より約15分

#### ◆バス

- バスセンター⇨豊畑東 東6札苗線  
「豊畑神社」下車、徒歩約12分
- 地下鉄環状通東⇨豊畑東 東68伏古札苗線  
「豊畑神社」下車、徒歩約12分
- JR苗穂駅⇨豊畑 東雁来線56  
「東雁来12条2丁目」下車、徒歩約7分



コミュニティホール

|    |               |    |    | 宿泊収容人数                    | 98名 |
|----|---------------|----|----|---------------------------|-----|
| 1階 | コミュニティホール(食堂) | 1室 | 2階 | 宿泊室(1室8ベッド)               | 12室 |
|    | ロッカールーム(トイレ付) | 2室 |    | スタッフ室(2ベッド)               | 1室  |
|    | シャワールーム       | 2室 |    | 洗面所・トイレ                   | 2室  |
|    | ミーティングルーム     | 2室 |    | リネン室(洗濯機4台)               | 1室  |
|    | トレーニングルーム     | 1室 |    | 談話室                       | 2室  |
|    | トイレ(男女)       | 2室 |    | コミュニティホールや宿泊室に<br>エアコン完備！ |     |
|    | 厨房            | 1室 |    |                           |     |
|    | ボイラー室・倉庫      | 1室 |    |                           |     |
|    | 管理人室          | 1室 |    |                           |     |

### 施設概要

#### ◆名称

北海道トレーニングセンターハウス  
愛称「夢きたれ」

#### ◆場所

札幌市東区東雁来12条3丁目1-1  
札幌サッカーミュージアムパーク内

#### ◆管理者

(公財)北海道サッカー協会

#### ◆お問合せ

(公財)北海道サッカー協会

Tel 011-825-1100 (9:00~18:00※土日祝日は除く)

# 各種連盟



- ・北海道社会人サッカー連盟
- ・北海道自衛隊サッカー連盟
- ・北海道クラブユースサッカー連盟
- ・北海道シニアサッカー連盟
- ・北海道学生サッカー連盟
- ・北海道専門学校サッカー連盟
- ・(一社)北海道フットサル連盟
- ・北海道ビーチサッカー連盟

# ブロックリーグ再編の 課題とJFL昇格への期待

平素より本連盟の活動に際し格別のご高配を賜り御礼申し上げます。

今年度より、北海道サッカーリーグの下に位置する、ブロックリーグが再編され、3ブロックで実施することとなりました。他の種別は5ブロックで実施しているリーグ戦ですが、1種では地域によって登録チーム数にばらつきがあるため、数年前から4ブロックで実施していましたが、更なる登録チーム数の減少により再編を余儀なくされた形となります。

ただ再編により、道北地区と道東地区を同一ブロックとしたことにより、試合会場までの移動距離が長くなったことによるリスクが高まった事は懸念される事項であります。

JFAがリーグ戦の実施を推奨するようになってからは北海道において地区間の移動距離の長さが種別を問わず問題となっていると思われ、移動におけるバス代の高騰やレンタカー利用の是非などの課題があります。他にも長距離移動に係る身体的負担等もあり、移動を伴う上位リーグへの参戦を希望しないチームもあるのが現状です。

そのような理由も含めて、登録チーム数が減少している半面、JFL昇格を目指すチームが北海道リーグに3チーム存在していることは喜ばしい事です。

上位リーグを目指すチームが多ければ多いほど、チーム間での競争意識が高まり、リーグ全体のレベルアップに繋がるのではと期待しております。

また、シーズン移行に伴うJクラブのキャンプ地誘致が進めば、Jクラブとのトレーニングマッチなど更なるレベルアップが見込まれるのではと思います。

北海道初のJFL昇格を目指し、連盟においても競技環境の向上などに尽力していきますので、関係の皆様においても、引続きのご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



北海道社会人サッカー連盟  
理事長 大橋 穰



# 50年の歩みを礎に、 次なる飛躍へ



本連盟は昨年50周年を迎えることができました。これも、これまで運営にご協力いただいた北海道サッカー協会、各地区協会、審判の皆さまの支えがあつて成しえることができたことであり、心より感謝いたします。

今年はワールドカップイヤーです。現在の日本代表には大学サッカーで活躍した選手も数多く選ばれています。このことから、日本の大学サッカーは、日本のサッカーレベルを押し上げる原動力の一つとなっています。北海道の学生サッカーからも毎年Jリーグ選手が出てきています。しかしながら、まだまだ全国とのレベル差があり、夏の総理大臣杯、冬のインカレとも、代表チームはなかなか勝ち上がるのに苦戦をしています。そういった現状もあり、トップチームのレベルアップのためにも、北海道の学生サッカー全体の底上げが大きな課題となっています。ここ数年は、どのような強化や環境を設けることが競技力の向上となるのか、毎年試行錯誤をしています。

一方、審判員の養成を見ると、学生サッカー連盟審判部に所属する審判は活躍の幅を広げています。昨年は史上初めて、インカレ決勝試合で北海道学生サッカー連盟審判部所属の学生が主審を務めるという快挙を成し遂げました。すなわち、各地域から選ばれた学生審判の中で、最も良い評価を得られた結果とも言えます。このことは、現在、審判部に所属する学生にとっても良いロールモデルとなっており、ぜひ後に続いてもらいたいと思います。

大学生のサッカーにとって、もちろん技術や競技力のレベルをあげ、チームが強くなることを目標にすることが重要ですが、学生サッカーの存在意義は、そのプロセスの中で人間力を養い、高めってもらうことにあると考えています。単に勝負の勝ち負けだけではなく、チームという組織が目標に向かい、計画、準備、努力し、お互いを助け合うことでチームプレーを学ぶ。そういった経験から、将来社会に出た際に、地域社会をより良くするために貢献できる人材を輩出することも学生サッカーの重要な目的です。本連盟では、学生が北海道でサッカーというスポーツを通して、将来日本の全国各地で活躍できる人材となるよう指導していきます。今年も皆様のご支援よろしくお願いいたします。



北海道学生サッカー連盟  
理事長 濱谷 弘志

# 千歳基地連覇と 全国大会での今後の対策

2025年度全道自衛隊サッカー大会は10月18日(土)～10月19日(日)千歳市臨空公園サッカー場及び青葉公園サッカー場にて開催されました。参加チームは昨年と同じく4チームの参加トーナメントで行われ千歳基地サッカー部が28回目の優勝を飾りました。今年についても全国出場2チーム派遣となり千歳基地と滝川チームが参加しました。海上厚木マーカス(神奈川県)が6連覇で優勝しました。北海道2代表は決勝ラウンドへは進出できませんでした。反省事項等ではありますが60回大会に期待します。やはり上位チームは常連ぞろいで、層の厚さを感じました。特に驚いたことに同ブロックに北海道チームの2チームが組合せだったことで、正直言って大会の組織運営側に疑問を持ちました。組織的に防大OBの現役の幹部の方々が持ち回りで実行委員となっており大会のたびに組合せ方式とか大会の規定が変わっていきます。仕方ないところかもしれませんが公平な条件でやってほしいものです。

北海道チームも選抜・補強すれば勝機はあると思いますが、次年度に向けての対策を検討したいと思います。

全国自衛隊サッカー大会



北海道自衛隊サッカー連盟  
理事長 小澤 義則



# そして未来へー北海道 専門学校サッカーの挑戦

北海道専門学校サッカー連盟は、1991年4月24日に誕生しました。本連盟は、「サッカーを通じ、学生の心身の健全な発達、体力の向上及びスポーツ精神の高揚を図り、併せて専門学校教育の充実、親睦に寄与する」という目的でスタートしました。現在では各種大会運営に関わり、他の種別とも様々な面で協力しながら北海道のサッカー活動の発展に貢献できるよう取り組んでおります。しかし近年では少子化等の影響により、選手・チーム数の減少が著しく見える形となってきたのが現状です。

昨年度は連盟主催事業であります春のリーグ戦、夏の選手権大会、の2つの事業を少ないチームながら実施することができました。選手権大会は全国予選を兼ねており、今年も北海道スポーツ専門学校が予選を勝ち抜き、全国大会へコマを進めました。宮城県松島フットボールセンターで行われた「文部科学大臣杯争奪第35回全国専門学校サッカー選手権大会」では残念ながら群馬県代表チームに敗れ初戦敗退となりました。これは参加チーム数減少に伴う公式戦の減少も要因にあるかもしれません。2026年度は大阪府堺市の堺市立ナショナルトレーニングセンターで開催されます。北海道代表チームが悲願の優勝を目指して、学生たちの環境を準備していきたいと考えます。

専門学校連盟から巣立った選手たちが次のステージで北海道サッカーに貢献できるよう尽力してまいりたいと思います。



北海道専門学校サッカー連盟  
理事長 三谷 直人

# 北海道クラブユースサッカー連盟の 現状・課題と展望

## 広大な大地で育てる サッカーの可能性



北海道クラブユースサッカー連盟は、北海道内のクラブチームによるU-15・U-18年代を中心とした育成・競技環境の整備を担う組織であり、各種大会を通じて選手の育成と競技力向上に取り組んでいます。

近年はU15クラブ選手権全国大会も札幌圏を中心に開催し、全国レベルのチームと地元地域クラブとの連携も増え、多くの選手が全国レベルを体験出来る機会を得ています。

一方で、北海道特有の課題も多く抱えており、広大な地理的条件による移動負担や、各地域間の距離が長いため、リーグ戦や大会参加に伴う交通費や宿泊費がクラブや保護者に大きな負担となっている。

また、少子化や人口減少の影響により、特に地方地域では選手確保が難しくなり、チーム運営そのものが課題となっている地域も出てきている。

今後の展望としては北海道全域で安定した育成環境を構築し、地域格差を縮小しながら選手育成の質を高めていくことが期待されます。さらに、女子クラブユースの普及や指導者養成の充実、デジタル技術を活用した育成支援体制の整備などにより、より多くの子供たちが質の高いサッカー環境に触れられる仕組み作りが必要になってくると思います。

また、地域に根差したクラブづくりを推進し、競技力向上だけでなく、地域スポーツの発展にも貢献することが重要になってくると思っています。



北海道クラブユースサッカー連盟  
理事長 大年 貴之



# エスポラーダF1復帰と 選抜チームの新たな挑戦

2025-2026シーズン最後のイベントが3/29に終了し、当連盟の事業がすべて無事終了しました。各種事業の参加チームと選手、運営に携わっていただいたスタッフや審判員、全ての方々にこの場をお借りし、深く感謝を申し上げます。

振り返ると、競技団体として精力的に活動できたシーズンだったと自負しています。

北海道で一番のビッグトピックスは、何と言ってもエスポラーダ北海道のディビジョン1への復帰です。シーズン終盤の数試合はハラハラドキドキの連続で最終戦の北ガスアリーナ札幌46では、3,200人の観客が固唾をのんでディビジョン2での優勝決定を見守り、その瞬間を全員で歓喜したシーンは忘れられません。本当によくやってくれました。そしてこの日、もう一つのビッグイベントもありました。今シーズン、各種選手権や代表決定戦をフリーグホームゲームの前座試合として、(公財)北海道サッカー協会、エスポラーダ北海道の協力のもと、2試合実施したことです。6月に全日本大学フットサル大会北海道地域代表決定戦の決勝、そしてこの日は会長杯U-18フットサルリーグプレーオフを大勢の観客が見守る中開催。試合も盛り上がり、そして大学・高校世代のフットサルを多くの方に見て頂いたことは何より意味のあることになったと思っています。

今シーズン、北海道フットサル選抜として4カテゴリーのチームを編成し全国大会に派遣しました。選考され遠征する選手は全員、遠征費用は自己負担です。

当連盟でも活動費の一部は予算計上し、補助しておりますが十分な額とは言えません。そこで選手の負担を少しでも減らすことを目標に取り組んだことは、KDDI社・運動通信社が展開するコミュニケーションアプリ「ANYTEAM」に登録し、その機能の支援ツールを利用したクラウドファンディングのプロジェクトを立ち上げました。さらに男子選抜チームの活動を追ったPVをスポンサーであるJCOM社がサポートし、動画で配信。大きな反響を呼びました。今もYouTubeで閲覧できますので是非ご覧いただければ幸いです。支援額としては、男子は成功、女子は思った結果が出ませんでした。チャレンジし続けることが大切なのだと改めて感じました。

新しいシーズンも始まっておりますが、新体制のもと北海道のフットサルが、そして日本のフットサルがより活発になり人々の関心が高まるよう進めていきます。



一般社団法人  
北海道フットサル連盟  
専務理事 細川 貴史

# 生涯スポーツとしての 発展と課題



平素より北海道シニアサッカー連盟の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。北海道シニアサッカー連盟は2000年の発足以来、全道大会や各地区リーグの運営を通じて、0-40から0-70以上まで幅広い世代に競技と交流の機会を提供してきました。連盟運営は、会長・副会長をはじめ、理事長・副理事長、常任理事、理事、監事及びアドバイザーで構成する理事会が中心となり、組織的な体制のもと事業を推進しております。

こうした体制のもと、シニア種の登録状況は2000年の11チーム340名から増加を続け、2025年度には137チーム2,846名となり、全国的にも有数の規模を誇るカテゴリーへと成長しています。一方で少子高齢化や人口減少の進行により、今後は単なる登録者数の維持にとどまらず、競技から離れた層の復帰促進や新規参加者の受入れなど、構造的な拡張が重要な課題となっています。この課題に対し、2025年度は制度面の見直しを進め、親睦大会においてJFA未登録選手の参加を一部認める取組を開始しました。これはサッカーから離れていた方の復帰を支援するものであり、競技人口維持に向けた戦略的施策として位置付けています。また、これまで十分なプレー機会が確保されていなかった80歳代及び女子シニアに対して新たな大会を創設し、カテゴリーの細分化による継続参加環境の整備を進めました。さらに、高齢化に伴う健康リスクに対応するため、健康調査票の導入や血圧管理の徹底など安全対策を強化するとともに、

2026年度以降は60歳以上の登録料・参加料に対する軽減措置(シニア割)を導入し、経済的側面からも継続しやすい環境づくりにも取り組んでいます。これらの取組は、HKFA中期ビジョンが掲げる「登録者数の維持」と「グラスルーツの充実」を具現化するものであり、再開者の掘り起こし、カテゴリー細分化による最適な受け皿づくり、女子シニアの拡充、審判・運営人材の育成、地区協会との連携強化を柱に、シニア世代の充実を図っていきます。シニアサッカーは、競技力向上に加え、健康づくり、地域交流、生涯スポーツの推進という社会的役割を担っていることから、今後も「競技」と「普及」の両輪で持続可能な発展モデルの構築に努めるとともに、北海道サッカーの重要な基盤としてシニアカテゴリーの価値をさらに高めていく所存です。引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

北海道シニアサッカー連盟ホームページ：<http://h-seniorsoccer.com/>



北海道シニアサッカー連盟  
理事長 佐藤 英隆

# 短い夏を熱くする 北海道 ビーチサッカーの魅力

この競技は砂の上で行うスポーツのひとつです。代表的な種目と言えば、オリンピック正式種目にもなっているビーチバレーでしょうか。まだまだこの競技の認知度は高いとは言えないのが現状です。

1年間で実施する大会は、第1種年代（社会人や大学生）を対象にした全道ビーチサッカー大会と北海道ビーチサッカーリーグです。それぞれの大会前日にはフェスティバルやクリニックを開催し、小学生から高校生まで広い年代に関心を持ってもらうべく発信し続けています。北海道の夏はあまりにも短く、さらに限られた場所でしか実施できないこと等、競技を普及していく苦労は絶えません。でも参加してくれたチームからは、必ず楽しかったと笑顔で言ってくれることが力になっています。

2025年度も(公財)日本サッカー協会、(一財)日本ビーチサッカー連盟(以下「JBSF」という)の支援を受け、ビーチサッカー日本代表選手や他地域の強豪チームを招聘しエキシビジョンマッチ、クリニックを実施しました。このスポーツの楽しさを伝授してもらうことに留まらず、戦術やテクニックの指導も受け、少しずつですが関心を持った仲間が増えていく事を実感しています。

2026年度シーズンからJBSF主催のJapan Beach Soccer Leagues Premierが日本ビーチサッカーtopの8チームによって熊本会場を皮切りに、リーグが始まりました。女子に関しては、日本選抜を編成しメキシコ遠征が実施され、日本のビーチサッカーが大きく変わろうとし

ています。

9地域間の競技レベルの格差は大きく、まだまだそのレベルまで到達することは出来ませんが、背伸びをせず、地に足を付け地道に活動を続けて仲間を増やしていく事が北海道としてビーチサッカーの未来の青写真を描けることに繋がると自負しています。

是非、このスポーツの楽しさに一度触れてみませんか？室蘭イタンキ浜、あそびーち石狩でお待ちしております。



北海道ビーチサッカー連盟  
理事長 荒川 浩幸

# 札幌サッカーアミューズメントパーク (SSAP)施設ガイド

## 施設が歩んできた歴史と理念



2002年W杯記念  
事業として誕生

2006年にJFAの助成で  
建設され、現在はNPO法人  
が運営しています

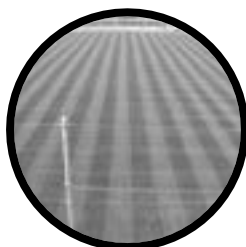
「いつでも、だれとでも、  
いつまでも」



全世代がスポーツで健康維持や  
交流ができる場を目指しています

## 施設概要と利用案内

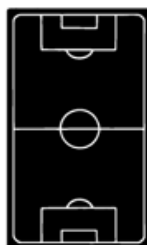
### 多彩なフィールド環境を整備



天然芝 (1面)



人工芝(1面)  
ナイター対応



東雁来公園  
人工芝(2面)



屋内競技場  
人工芝  
(フットサルコート2面)



### 予約方法

空き状況の確認はこちらから

SSAP  
(天然芝・人工芝・屋内) 東雁来公園サッカー場



## 所在地・お問い合わせ



札幌市東区東雁来12条3丁目1-1



電話 011-791-9900

# データベース

2025年度





# 2025年度各事業大会結果報告

| 第79回国民スポーツ大会サッカー競技 |    |     |                                      |                                                                                           | 国スポ                            |
|--------------------|----|-----|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 年                  | 回  | 開催地 | 北海道代表 最終結果                           | スコア                                                                                       | 優勝チーム                          |
| 2025               | 79 | 滋賀  | 少年男子:1回戦敗退<br>少年女子:1回戦敗退<br>成年男子:第4位 | 少年男子:1回戦vs千葉0-3<br>少年女子:1回戦vs東京1-3<br>成年男子:1回戦vs和歌山3-0、2回戦vs福島5-4、準決勝vs大分0-1、3位決定戦vs千葉0-3 | 少年男子:東京<br>少年女子:広島<br>成年男子:鹿児島 |

第1種

| 全道高等専門学校(U-19)サッカー新人大会 |    |     |      |             |            |            |
|------------------------|----|-----|------|-------------|------------|------------|
| 年                      | 回  | 開催地 | チーム数 | 優勝          | 準優勝        | 第3位        |
| 2025                   | 16 | 苫小牧 | 4    | 苫小牧工業高等専門学校 | 旭川工業高等専門学校 | 函館工業高等専門学校 |

| 全国高等専門学校サッカー選手権大会 |    |     |                                                  |                              | 全国大会                 |
|-------------------|----|-----|--------------------------------------------------|------------------------------|----------------------|
| 年                 | 回  | 開催地 | 結果                                               | 回/日程/会場<br>優勝チーム             | 北海道代表チーム<br>最終結果     |
| 2025              | 58 | 苫小牧 | 1位 苫小牧工業高等専門学校<br>2位 函館工業高等専門学校<br>3位 旭川工業高等専門学校 | 58 2025年12月 宮崎<br>石川工業高等専門学校 | 苫小牧工業高等専門学校<br>1回戦敗退 |

| 北海道専門学校サッカー選手権大会 |    |     |                |                                   | 全国専門学校サッカー選手権大会      |
|------------------|----|-----|----------------|-----------------------------------|----------------------|
| 年                | 回  | 開催地 | 結果             | 回/日程/会場<br>優勝チーム                  | 北海道代表チーム<br>最終結果     |
| 2025             | 35 | 札幌  | 優勝 北海道スポーツ専門学校 | 35 2025年10月 宮城<br>ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校 | 北海道スポーツ専門学校<br>1回戦敗退 |

| 北海道専門学校サッカーリーグ |     |                    |                |  |
|----------------|-----|--------------------|----------------|--|
| 年              | 開催地 | 結果                 |                |  |
| 2025           | 札幌  | 1位 北海道ハイテクノロジー専門学校 | 2位 北海道スポーツ専門学校 |  |

| 北海道学生サッカーリーグ |    |      |            |          |             | 全日本大学サッカー選手権大会   |                          |                  |
|--------------|----|------|------------|----------|-------------|------------------|--------------------------|------------------|
| 北海道予選        |    |      |            |          |             | 全国大会             |                          |                  |
| 年            | 回  | チーム数 | 第1位        | 第2位      | 第3位         | 回/日程/会場<br>優勝チーム | 北海道代表チーム<br>最終結果         |                  |
| 2025         | 44 | 6    | (1部)札幌大学   | 東海大学札幌校舎 | 教育大学岩見沢校    | 74               | 2025年12月<br>関東圏他<br>筑波大学 | 札幌大学<br>予選ラウンド敗退 |
|              |    | 6    | (2部)星槎道都大学 | 北海学園大学   | 教育大学岩見沢校旭川校 |                  |                          |                  |
|              |    | 10   | (3部)札幌国際大学 | 室蘭工業大学   | 小樽商科大学      |                  |                          |                  |

| インディペンデンスリーグ北海道大会 |    |      |         |          |           |
|-------------------|----|------|---------|----------|-----------|
| 年                 | 回  | チーム数 | 優勝      | 準優勝      | 3位        |
| 2025              | 17 | 11   | 札幌大学2nd | 教育大学岩見沢校 | 札幌大学サテライト |

| 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント |    |     |      |      |          |                        |                              |
|----------------------|----|-----|------|------|----------|------------------------|------------------------------|
| 北海道予選                |    |     |      |      | 全国大会     |                        |                              |
| 年                    | 回  | 開催地 | チーム数 | 優勝   | 準優勝      | 回/日程/会場<br>優勝チーム       | 北海道代表チーム<br>最終結果             |
| 2025                 | 47 | 札幌  | 24   | 札幌大学 | 教育大学岩見沢校 | 49 2025年9月 宮城他<br>東洋大学 | 札幌大学、教育大学岩見沢校<br>2回戦敗退、1回戦敗退 |

| デンソーカップチャレンジサッカー |    |    |          |         | 全国大会  |
|------------------|----|----|----------|---------|-------|
| 年                | 回  | 会場 | 北海道代表チーム | 最終結果    | 優勝チーム |
| 2025             | 40 | 愛知 | 北海道選抜    | プレーオフ敗退 | 関東選抜B |

| 知事杯全道サッカー選手権大会 |   |     |  |  |
|----------------|---|-----|--|--|
| 年              | 回 | 開催地 |  |  |
| 2025           |   | 中止  |  |  |

| HKFA北海道サッカー選手権大会 |   |     |      |                                                            | 天皇杯全日本サッカー選手権大会  |                  |
|------------------|---|-----|------|------------------------------------------------------------|------------------|------------------|
| 北海道代表決定戦         |   |     |      |                                                            | 全国大会             |                  |
| 年                | 回 | 開催地 | チーム数 | 結果                                                         | 回/優勝チーム          | 北海道代表チーム<br>最終結果 |
| 2025             | 7 | 空知  | 4    | 優勝<br>BTOP北海道<br>準優勝<br>北海道十勝スカイアース<br>3位<br>教育大学岩見沢校、札幌大学 | 105回<br>FC町田ゼルビア | BTOP北海道<br>1回戦敗退 |

| 全国社会人サッカー選手権大会 |    |     |                         |                                                                     | 全国大会                                    |
|----------------|----|-----|-------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 年              | 回  | 開催地 | 結果                      | 回/日程/開催地<br>優勝チーム                                                   | 北海道代表チーム<br>最終結果                        |
| 2025           | 61 | 苫小牧 | Aブロック 北海道十勝スカイアース<br>優勝 | Bブロック 優勝 ASC北海道<br>2025年10月 青森<br>ヴェロスクロノス都農<br>2025年10月 青森<br>南葛SC | ASC北海道<br>2回戦敗退<br>北海道十勝スカイアース<br>1回戦敗退 |

| 全国クラブチームサッカー選手権大会 |    |     |    |                    | 全国大会                          |                             |
|-------------------|----|-----|----|--------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 北海道予選             |    |     |    |                    | 北海道代表チーム                      |                             |
| 年                 | 回  | 開催地 | 結果 |                    | 回/日程/開催地<br>優勝チーム             | 最終結果                        |
| 2025              | 32 | 札幌  | 優勝 | 北海道フォルトゥナフットボールクラブ | 32 2025年9月福島<br>Osaka City SC | 北海道フォルトゥナフットボールクラブ<br>1回戦敗退 |

| 全道自治体職員サッカー選手権大会 |    |     |       |       | 全国大会                   |                       |
|------------------|----|-----|-------|-------|------------------------|-----------------------|
| 北海道予選            |    |     |       |       | 北海道代表チーム               |                       |
| 年                | 回  | 開催地 | 優勝    | 準優勝   | 回/日程/開催地               | 最終結果                  |
| 2025             | 55 | 釧路  | 札幌市役所 | 函館市役所 | 51 2025年7月 沖縄<br>藤枝市役所 | 札幌市役所、函館市市役所<br>1回戦敗退 |

| 北海道サッカーリーグ |    |      |         |             | 3位          |  |
|------------|----|------|---------|-------------|-------------|--|
| 年          | 回  | チーム数 | 優勝      | 準優勝         |             |  |
| 2025       | 48 | 8    | BTOP北海道 | 北海道十勝スカイアース | ノルブリッツ北海道FC |  |

| 北海道サッカーリーグブロックリーグ決勝大会 |    |     |      |       | 3位      |                |
|-----------------------|----|-----|------|-------|---------|----------------|
| 年                     | 回  | 開催地 | チーム数 | 優勝    | 準優勝     |                |
| 2025                  | 23 | 旭川  | 4    | 札幌蹴球団 | 北蹴会 岩見沢 | トヨタ自動車北海道サッカー部 |

| 北海道サッカーリーグブロックリーグ |       |      |                |                      | 3位                 |  |
|-------------------|-------|------|----------------|----------------------|--------------------|--|
| 年                 | ブロック  | チーム数 | 優勝             | 準優勝                  |                    |  |
| 2025              | 札幌    | 6    | 札幌蹴球団          | アンフィニVANKEI.FC       | 北海道フォルトゥナフットボールクラブ |  |
|                   | 道央・道北 | 4    | 北蹴会 岩見沢        | KAMUI FC HIGASHIKAWA | 旭蹴会                |  |
|                   | 道南    | 6    | トヨタ自動車北海道サッカー部 | VAIN FC 伊達           | FC函館ナチャール          |  |
|                   | 道東    | 6    | 新得フットボールクラブ    | 蹴鞠会                  | FC網走               |  |

| 日本スポーツマスターズ2025サッカー選手権大会 |     |    |                |                    | 全国大会         |                        |
|--------------------------|-----|----|----------------|--------------------|--------------|------------------------|
| 年                        | 開催地 |    |                |                    | 北海道代表チーム最終結果 |                        |
| 2025                     | 小樽  | 1位 | アンフィニVANKEI.FC | 2位 YUTO.SC.classic | 優勝 神奈川県選抜    | アンフィニVANKEI.FC 予選リーグ敗退 |

| 全国地域サッカーチャンピオンズリーグ |             |          |  |       |               |          |
|--------------------|-------------|----------|--|-------|---------------|----------|
| 全国大会               |             |          |  |       |               |          |
| 年                  | 会場          | 北海道代表チーム |  | 最終結果  | 予選リーグ結果       | 優勝チーム    |
| 2025               | 福井、岩手、高知、千葉 | BTOP北海道  |  | 1次R敗退 | グループC3位(0勝3敗) | ジェイリースFC |

| 全道自衛隊サッカー大会 |    |     |      |                | 全国自衛隊サッカー大会  |                     |
|-------------|----|-----|------|----------------|--------------|---------------------|
| 北海道予選       |    |     |      |                | 全国大会         |                     |
| 年           | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果             | 回/日程/開催地     | 北海道代表チーム            |
| 2025        | 59 | 千歳  | 4    | 優勝 千歳基地サッカー部   | 58 2025年4月東京 | 千歳基地サッカー部           |
|             |    |     |      | 準優勝 滝川駐屯地サッカー部 |              | 東千歳サッカー部<br>予選リーグ敗退 |

## 第2種(U-18)

| 全国高校サッカー選手権大会 |     |          |      |                                         | 全国大会                           |         |
|---------------|-----|----------|------|-----------------------------------------|--------------------------------|---------|
| 北海道予選         |     |          |      |                                         | 北海道代表チーム                       |         |
| 年             | 回   | 開催地      | チーム数 | 結果                                      | 日程/会場<br>優勝チーム                 | 最終結果    |
| 2025          | 104 | 十勝<br>札幌 | 29   | 優勝 北海道高等学校                              | 25年12月-26年1月<br>国立競技場他<br>神村学園 | 北海道高等学校 |
|               |     |          |      | 準優勝 札幌大谷高等学校<br>3位 札幌創成高等学校<br>札幌光星高等学校 |                                | 1回戦敗退   |

| 全国高等学校総合体育大会サッカー競技 |    |     |      |                                        | 全国大会                         |                |
|--------------------|----|-----|------|----------------------------------------|------------------------------|----------------|
| 北海道予選              |    |     |      |                                        | 北海道代表チーム                     |                |
| 年                  | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果                                     | 日程/開催地<br>優勝チーム              | 最終結果           |
| 2025               | 78 | 旭川  | 24   | 優勝 札幌大谷高等学校                            | 2025年7-8月<br>Jヴィレッジ他<br>神村学園 | 札幌大谷高等学校 1回戦敗退 |
|                    |    |     |      | 準優勝 北海道大谷高等学校、岩見沢東高等学校<br>3位 北海道大谷高等学校 |                              |                |

| 日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会 |    |      |      |                 | 全国大会    |                                |
|-------------------------|----|------|------|-----------------|---------|--------------------------------|
| 年                       | 回  | 開催日程 | 開催地  | 北海道代表チーム        | 最終結果    | 優勝チーム                          |
| 2025                    | 49 | 7月   | 三ツ沢他 | 北海道コンサドーレ札幌U-18 | 予選リーグ敗退 | グループH3位(1勝1敗1分)<br>鹿島アントラーズユース |

| 高田宮杯JFA U-18サッカーリーグ プレミアリーグ プレーオフ |         |          |  |            | 全国大会 |  |
|-----------------------------------|---------|----------|--|------------|------|--|
| 年                                 | 開催地     | 北海道代表チーム |  | 結果         |      |  |
| 2025                              | 広島広域公園他 | 札幌大谷高等学校 |  | Bブロック1回戦敗退 |      |  |

| 高田宮杯JFA U-18サッカーリーグ プリンスリーグ北海道 |        |      |          |                 | 3位     |  |
|--------------------------------|--------|------|----------|-----------------|--------|--|
| 年                              | 開催地    | チーム数 | 優勝       | 準優勝             |        |  |
| 2025                           | 札幌・旭川他 | 8    | 札幌大谷高等学校 | 北海道コンサドーレ札幌U-18 | 北海高等学校 |  |

| 高田宮杯JFA U-18サッカーリーグ 北海道ブロックリーグ |      |      |                 |             |              |
|--------------------------------|------|------|-----------------|-------------|--------------|
| 年                              | ブロック | チーム数 | 優勝              | 準優勝         | 3位           |
| 2025                           | 札幌   | 8    | [1部]東海大札幌(top)  | とわの森三愛(top) | 札幌大谷(3rd)    |
|                                |      | 8    | [2部]札幌光星(2nd)   | 札幌大谷(4th)   | 北海(3rd)      |
|                                |      | 16   | [3部A]札幌東(top)   | とわの森三愛(2nd) | 北海(4th)      |
|                                |      | 22   | [3部B]札幌創成(4th)  | 札幌光星(4th)   | 北星学園大付属(3rd) |
|                                | 道央   | 8    | [4部A]東海大札幌(4th) | とわの森三愛(3rd) | 札幌龍谷(top)    |
|                                |      | 11   | [4部B]札幌龍谷(2nd)  | とわの森三愛(4th) | 札幌山の手(3rd)   |
|                                |      | 15   | [4部C]札幌山の手(2nd) | 札幌山の手(4th)  | 札幌平岡         |
|                                |      | 8    | [1部]文教大付属       | 日大          | 恵庭南          |
|                                | 道南   | 8    | [2部]文教大付属(2nd)  | 千歳          | 恵庭南(2nd)     |
|                                |      | 15   | [1部]駒大苫小牧(2nd)  | 大谷室蘭(3rd)   | 函大有斗         |
|                                | 道東   | 8    | [2部西]函館西        | 函大有斗(2nd)   | 市立函館         |
|                                |      | 8    | [2部東]苫小牧工業      | 室蘭FC        | 静内           |
|                                | 道北   | 8    | [1部]釧路北陽        | 帯広緑陽        | 帯広北(2nd)     |
|                                |      | 8    | [2部]釧路北陽(2nd)   | 帯広大谷(2nd)   | 武修館          |
|                                |      | 7    | [1部]旭川実業(3rd)   | 旭川明成        | 旭川龍谷(top)    |
|                                |      | 8    | [2部]旭川実業(4th)   | 旭川龍谷(2nd)   | 旭川明成(2nd)    |
|                                |      | 8    | [3部]旭川龍谷(3rd)   | 旭川工業        | 枝幸名寄士別翔雲     |

| 高田宮杯JFAU-18サッカープリンスリーグ北海道 プレーオフ |     |      |       |        |       |
|---------------------------------|-----|------|-------|--------|-------|
| 年                               | 開催地 | チーム数 | 優勝    | 優勝     | 準優勝   |
| 2025                            | 札幌  | 8    | Aブロック | 東海大札幌  | 釧路北陽  |
|                                 |     |      | Bブロック | とわの森三愛 | 文教大付属 |

第3種(U-15)

| 高田宮杯全日本U-15サッカー選手権大会 |                           |                             |                |              |
|----------------------|---------------------------|-----------------------------|----------------|--------------|
| 全国大会                 |                           |                             |                |              |
| 年                    | 開催日程<br>開催地               | 北海道代表チーム                    | 最終結果           | 優勝チーム        |
| 2025                 | 12/13-12/27<br>J-GREEN 堺他 | 北海道コンサドーレ札幌U-15<br>札幌ジュニアFC | 1回戦敗退<br>1回戦敗退 | 名古屋グランパスU-15 |

| 北海道中学校体育大会北海道中学校サッカー大会 |    |     |      |                           | 全国中学校体育大会全国中学校サッカー大会       |                                      |  |
|------------------------|----|-----|------|---------------------------|----------------------------|--------------------------------------|--|
| 北海道予選                  |    |     |      |                           | 全国大会                       |                                      |  |
| 年                      | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果                        | 回/日程/会場                    | 参加チーム/最終結果予選リーグ等結果                   |  |
| 2025                   | 64 | 旭川市 | 16   | 優勝 札幌大谷中学校<br>準優勝 岩見沢市拠点校 | 56<br>2024年8月<br>ひなた陸上競技場他 | 札幌大谷中学校 準々決勝敗退<br>岩見沢市拠点校サッカー部 1回戦敗退 |  |

| 日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 |    |           |       |                      |              |                                |
|-------------------------|----|-----------|-------|----------------------|--------------|--------------------------------|
| 全国大会                    |    |           |       |                      |              |                                |
| 年                       | 回  | 開催日程      | 開催地   | 北海道代表チーム             | 最終結果         | 優勝チーム                          |
| 2025                    | 40 | 8/15-8/25 | SSAP他 | 札幌ジュニア<br>SSSジュニアユース | 予選敗退<br>予選敗退 | グループH4位(3敗)<br>グループG3位(1勝1敗1分) |

| 北海道カプスリーグU-15 |    |        |      |                      |              |              |
|---------------|----|--------|------|----------------------|--------------|--------------|
| 年             | 回  | 開催地    | チーム数 | 優勝                   | 準優勝          | 3位           |
| 2025          | 19 | 札幌・室蘭他 | 10   | [1部] 北海道コンサドーレ札幌U-15 | 札幌ジュニアFC     | SSSジュニアユース   |
|               |    |        | 10   | [2部] スプレッドイーグル函館     | アンフィニ札幌(2nd) | FC DENOVA 札幌 |

| 高田宮杯JFAU-15サッカーリーグ ブロックカプスリーグ |      |      |                   |              |                |
|-------------------------------|------|------|-------------------|--------------|----------------|
| 年                             | ブロック | チーム数 | 優勝                | 準優勝          | 3位             |
| 2025                          | 札幌   | 8    | 1部 SSS札幌サクセス      | FCフォルテ札幌     | 石狩フットボールクラブ    |
|                               |      | 8    | 2部A 札幌ジュニア(3rd)   | ベアフット北海道     | SSS札幌サクセス(2nd) |
|                               |      | 8    | 2部B クラブフィールズ(2nd) | 札幌大谷中学校(2nd) | Rugart FC      |
|                               | 道央   | 8    | FC VORTEX         | DOHTO(2nd)   | 泊・SHIRAKABA    |
|                               | 道南   | 10   | AVENDA FC         | Arearea      | プレイフル函館        |
|                               | 道東   | 8    | 帯北FC U-15         | FC網走U-15     | NFCレグルス        |
|                               | 道北   | 8    | B.N.F.C           | 上富良野         | EINS FSV       |

| 北海道カプスリーグU-13 |    |        |      |                    |              |
|---------------|----|--------|------|--------------------|--------------|
| 年             | 回  | 開催地    | チーム数 | 優勝                 | 3位           |
| 2025          | 17 | 札幌・室蘭他 | 1部   | 10 北海道コンサドーレ札幌U-15 | 札幌大谷中学校      |
|               |    | 札幌・函館他 | 2部   | 9 スプレッドイーグル函館      | FC DENOVA 札幌 |
|               |    | 札幌・旭川他 | 3部   | 16 石狩フットボールクラブ     | EINS FSV     |

| 北海道ブロックカプスリーグU-13 |    |      |      |           |                |
|-------------------|----|------|------|-----------|----------------|
| 年                 | 回  | ブロック | チーム数 | 優勝        | 3位             |
| 2025              | 13 | 道東   | 8    | 帯北FC U-15 | NFCレグルス        |
|                   |    |      |      |           | プロGRESS十勝(2nd) |

第4種(U-12)

| 全日本少年サッカー大会 |    |     |      |                                                                     |                               |                                                |
|-------------|----|-----|------|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------------------|
| 北海道予選       |    |     |      |                                                                     |                               |                                                |
| 年           | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果                                                                  | 日程/会場<br>優勝チーム                | 北海道代表チーム<br>最終結果/予選リーグ結果                       |
| 2025        | 49 | 苫小牧 | 16   | 優勝 北海道コンサドーレ札幌U-12<br>準優勝 札幌ジュニアFC<br>3位 AVENDA FC<br>SSS札幌サッカースクール | 2025年12月<br>鹿兒島ふれあい他<br>サガン鳥栖 | 北海道コンサドーレ札幌U-12<br>1次ラウンド敗退<br>1次グループ12位(2勝1敗) |

| 全日本少年サッカー大会ブロック予選 |      |      |                                                                |                                                                             |                                                    |                                                               |  |
|-------------------|------|------|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|--|
| 年                 | ブロック | チーム数 | 優勝                                                             | 準優勝                                                                         | 3位                                                 | 3位                                                            |  |
| 2025              | 札幌   | 16   | A 北海道コンサドーレ札幌U-12<br>B SSS札幌サッカースクール<br>C 札幌ジュニアFC<br>D 西園・福井野 | 寒寒サッカースポーツ少年団<br>Realizzare FC<br>北海道コンサドーレ札幌BLACK<br>FC Kitago PIVOアズ'ヘルデ' | SSSサクセスA<br>SSS札幌コラソン<br>NORTE札幌FC<br>One Eight FC | 篠路FC<br>FC DENOVA 札幌<br>KE CLUB FIELDS<br>Fibra Football Club |  |
|                   | 道央   | 12   | A 稲穂サッカー少年団<br>B DOHTO Jr U-12B<br>C DOHTO Jr U-12A            | SHIRAKABA<br>FC 志文・栗沢<br>長沼マオイフットボールクラブ                                     | 滝川明苑<br>ヴィエント・F・マリノ<br>NAIE SUNAGAWA               | 岩見沢日の出<br>N-JSC滝川<br>EZZORE FC                                |  |
|                   | 道南   | 8    | A AVENDA FC<br>B YELL FOOTBALL CLUB                            | クリアールサッカースクールA<br>サン・スポーツクラブ                                                | 北海道コンサドーレ室蘭<br>WVOジュニアFC                           | 登別FC エルカソ<br>函館ジュニオールFCブルー                                    |  |
|                   | 道東   | 12   | A 音更ユニオンSC<br>B FC中標津<br>C プロGRESS十勝FC                         | SC釧路<br>北見リトルウイングスSFT<br>紋別ドルフィンズ                                           | 帯北FC<br>Spo-RE幕別札幌内FC RED<br>根室北斗FC                | 遠軽はやぶさ<br>芽室サッカー少年団<br>北海道コンサドーレ釧路                            |  |
|                   | 道北   | 12   | A B.N.F.C<br>B FCリベルタ旭川<br>C 名寄ビヤリサッカー少年団                      | 旭川Grin・Bear・Boys FC<br>トロコ旭川FC<br>CRECER稚内                                  | 東光サッカー少年団<br>VITA FC<br>北海道コンサドーレ東川                | SSB<br>浜頓別サッカー少年団<br>永山南サッカー少年団                               |  |

| フジパングループPresentsロバパンCUP全道(U-12)サッカー少年団大会 |    |     |      |          |                   |               |                 |
|------------------------------------------|----|-----|------|----------|-------------------|---------------|-----------------|
| 年                                        | 回  | 開催地 | チーム数 | 優勝       | 準優勝               | 第3位           | 第3位             |
| 2025                                     | 57 | 帯広市 | 32   | 札幌ジュニアFC | Spo-RE幕別札幌内FC RED | SSS札幌サッカースクール | 北海道コンサドーレ札幌U-12 |

| トラック協会杯全道少年団(U-11)サッカー大会 |    |     |      |                     |             |          |               |
|--------------------------|----|-----|------|---------------------|-------------|----------|---------------|
| 年                        | 回  | 開催地 | チーム数 | 優勝                  | 準優勝         | 第3位      | 第3位           |
| 2025                     | 37 | 札幌市 | 24   | 北海道コンサドーレ札幌U-12EAST | 北海道コンサドーレ室蘭 | SC釧路U-12 | DOHTO Jr U-12 |

| 全道少年(U-12)8人制サッカー大会<br>北海道予選 |    |      |      | JA全農杯テレビニッパ小学生8人制サッカー大会<br>全国大会                                        |                                 |                                                |  |
|------------------------------|----|------|------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------------------|--|
| 年                            | 回  | 開催地  | チーム数 | 結果                                                                     | 日程/会場<br>優勝チーム                  | 北海道代表チーム<br>最終結果/予選リーグ結果                       |  |
| 2025                         | 22 | 苫小牧市 | 16   | 優勝 SSS札幌サッカースクール<br>準優勝 北海道コンサドーレ札幌U-12<br>3位 ASC北海道U-12 A<br>SC釧路U-12 | 2025/5/3～5<br>日産スタジアム他<br>柏レイソル | SSS札幌サッカースクール<br>1次グループ敗退<br>1次R Dグループ3位(2分1敗) |  |

| 岩内町長杯全道少年U-10サッカー南北北海道大会 |    |     |      |                     |                 |                        |  |
|--------------------------|----|-----|------|---------------------|-----------------|------------------------|--|
| 年                        | 回  | 開催地 | チーム数 | 優勝                  | 準優勝             | 第3位                    |  |
| 2025                     | 22 | 岩内町 | 24   | 北海道コンサドーレ札幌U-12EAST | 北海道コンサドーレ室蘭U-12 | FC Kitago PIVO アズ'ヘルデ' |  |

| 全道少年U-10サッカー北北海道大会 |    |     |      |                 |             |                 |             |
|--------------------|----|-----|------|-----------------|-------------|-----------------|-------------|
| 年                  | 回  | 開催地 | チーム数 | 優勝              | 準優勝         | 第3位             | 第3位         |
| 2025               | 22 | 帯広市 | 24   | 北海道コンサドーレ釧路U-12 | アッカムイとかちソルブ | 北海道コンサドーレ東川U-12 | 帯広フットボールクラブ |

| JFA U-12ガールズゲーム北海道 熊谷・高瀬杯サッカー大会 |    |     |      |              |        |                  |  |
|---------------------------------|----|-----|------|--------------|--------|------------------|--|
| 年                               | 回  | 開催地 | チーム数 | 優勝           | 準優勝    | 第3位              |  |
| 2025                            | 13 | 旭川市 | 21   | ハマナスカールズU-12 | 根室女子選抜 | FC 網走menina U-12 |  |

| 道新旗 北海道女子サッカーリーグ<br>北海道予選 |    |     |      | 皇后杯 JFA全日本女子サッカー選手権大会<br>全国大会                             |                                     |                       |  |
|---------------------------|----|-----|------|-----------------------------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------|--|
| 年                         | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果                                                        | 日程/会場<br>優勝チーム                      | 北海道代表チーム最終結果          |  |
| 2025                      | 20 | 札幌他 | 6    | 優勝 北海道リラ・コンサドーレ<br>準優勝 クラブフィールズ・リンダ<br>3位 札幌大学女子サッカー部ヴィスタ | 47 2026年1月<br>全国各地<br>サンフレッチェ広島レジーナ | 北海道リラ・コンサドーレ<br>1回戦敗退 |  |

| 北海道女子サッカーリーグ参入決定戦・入替戦 |   |     |     |          |           |  |  |
|-----------------------|---|-----|-----|----------|-----------|--|--|
| 年                     | 回 | 開催地 | 参入戦 | 第1位      | 入替戦 勝利チーム |  |  |
| 2025                  |   | 札幌  |     | 旭川実業高等学校 | ノルディーア北海道 |  |  |

| 全道O-30女子サッカー大会<br>北海道予選 |    |     |      | JFA全日本O-30女子サッカー大会<br>全国大会 |                         |                      |  |
|-------------------------|----|-----|------|----------------------------|-------------------------|----------------------|--|
| 年                       | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果                         | 回/日程/会場                 | 北海道代表チーム             |  |
| 2025                    | 37 | 小樽  | 3    | 優勝 DIVERTI<br>準優勝 室蘭アイスパーズ | 37 2026年3月 福島<br>Legame | DIVERTI<br>2位グループ第3位 |  |

| 全日本大学女子サッカー選手権大会<br>全国大会 |    |     |      |                 |                |            |  |
|--------------------------|----|-----|------|-----------------|----------------|------------|--|
| 年                        | 回  | 開催地 | チーム数 | 優勝              | 回/日程/会場        | 北海道代表チーム   |  |
| 2025                     | 34 | 札幌  | 2    | 札幌大学女子サッカー部ヴィスタ | 34 2026年1月 関東他 | 札幌大学 1回戦敗退 |  |

| 北海道高等学校女子サッカー選手権大会<br>北海道予選 |    |     |      | 全日本高等学校女子サッカー選手権大会<br>全国大会                              |                           |                      |  |
|-----------------------------|----|-----|------|---------------------------------------------------------|---------------------------|----------------------|--|
| 年                           | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果                                                      | 回/日程/会場                   | 北海道代表チーム             |  |
| 2025                        | 34 | 函館  | 11   | 優勝 北海道大谷室蘭高等学校<br>準優勝 北照高等学校<br>3位 札幌大谷高等学校<br>帯広大谷高等学校 | 34 2026年1月<br>兵庫<br>柳ヶ浦高校 | 北海道大谷室蘭高等学校<br>1回戦敗退 |  |

| 北海道高等学校総合体育大会女子サッカー競技<br>北海道予選 |    |     |             | 全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会女子<br>全国大会 |                        |                                          |  |
|--------------------------------|----|-----|-------------|--------------------------------|------------------------|------------------------------------------|--|
| 年                              | 回  | 開催地 | 優勝          | 準優勝                            | 日程/会場                  | 北海道代表チーム                                 |  |
| 2025                           | 14 | 旭川  | 北海道大谷室蘭高等学校 | 北海道文教大学附属高等学校                  | 2025年7月-8月 北海道<br>大商学園 | 北海道大谷室蘭高等学校 1回戦敗退<br>北海道文教大学附属高等学校 1回戦敗退 |  |

| 北海道女子U-18サッカー選手権大会 |    |     |      |                                 | JFA全日本U-18女子サッカー選手権大会           |                       |  |  |  |
|--------------------|----|-----|------|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------|--|--|--|
| 北海道予選              |    |     |      |                                 | 全国大会                            |                       |  |  |  |
| 年                  | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果                              | 回/日程/会場                         | 北海道代表チーム              |  |  |  |
| 2025               | 28 | 空知  | 3    | 優勝 クラブフィールズ・リンダ<br>準優勝 釧路リベラルティ | 29 2026年1月大阪<br>日テレ・東京ヴェルディメニーナ | クラブフィールズ・リンダ<br>1回戦敗退 |  |  |  |

| 北海道U-15女子サッカー選手権大会 |    |     |      |                                                                           | 高円宮杯JFA全日本U-15女子サッカー選手権大会                     |                                                     |  |  |  |
|--------------------|----|-----|------|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------|--|--|--|
| 北海道予選              |    |     |      |                                                                           | 全国大会                                          |                                                     |  |  |  |
| 年                  | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果                                                                        | 回/日程/会場                                       | 北海道代表チーム                                            |  |  |  |
| 2025               | 33 | 札幌  | 8    | 優勝 岩見沢FCルファヴェニール<br>準優勝 北海道リラ・コンサドーレ<br>3位 十勝FSリトルガールズ U-15<br>SC AMIRISA | 30 2025年12月 東京他<br>三菱重工浦和レッズレディース<br>スジュニアユース | 岩見沢FCルファヴェニール<br>1回戦敗退<br>十勝FSリトルガールズ U-15<br>1回戦敗退 |  |  |  |

| 北海道女子8人制リーグフェスティバル 北海道レディースエイトリーグ |     |        |       |          |  |  |  |  |  |
|-----------------------------------|-----|--------|-------|----------|--|--|--|--|--|
| 年                                 | 開催地 | 優勝     | 準優勝   | 第3位      |  |  |  |  |  |
| 2025                              | 札幌  | ノーNAME | 梶ファーム | EGZAS FC |  |  |  |  |  |

| 全国健康福祉祭＜ねんりんピック＞サッカー交流大会(60歳以上) |    |    |         |  | シニア |  |  |  |  |
|---------------------------------|----|----|---------|--|-----|--|--|--|--|
| 全国大会                            |    |    |         |  |     |  |  |  |  |
| 年                               | 回  | 会場 | 北海道代表   |  |     |  |  |  |  |
| 2025                            | 37 | 岐阜 | グループ第4位 |  |     |  |  |  |  |

| 全道O-70サッカーオープン大会 |    |     |      |                          | 全日本O-70サッカー大会                  |                    |  |  |  |
|------------------|----|-----|------|--------------------------|--------------------------------|--------------------|--|--|--|
| 北海道予選            |    |     |      |                          | 全国大会                           |                    |  |  |  |
| 年                | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果                       | 回/会場                           | 北海道代表チーム           |  |  |  |
| 2025             | 14 | 札幌  | 12   | 優勝 FC70室蘭<br>準優勝 函館四十雀70 | 19 2025年5月 静岡<br>広島県シニア70合同チーム | FC70室蘭<br>予選グループ敗退 |  |  |  |

| 全道O-60サッカー大会 |    |     |      |                                           | 全日本O-60サッカー大会              |                      |  |  |  |
|--------------|----|-----|------|-------------------------------------------|----------------------------|----------------------|--|--|--|
| 北海道予選        |    |     |      |                                           | 全国大会                       |                      |  |  |  |
| 年            | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果                                        | 回/会場                       | 北海道代表チーム             |  |  |  |
| 2025         | 33 | 苫小牧 | 16   | 優勝 帯広シニア60SC<br>準優勝 羊ヶ丘オールドキッカーズ2002/OV60 | 24 2025年5月 静岡<br>横須賀アズール60 | 札幌60CERI烏<br>予選リーグ敗退 |  |  |  |

| 全道O-50サッカー大会 |    |     |      |                              | 全日本O-50サッカー大会               |                                                 |  |  |  |
|--------------|----|-----|------|------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------|--|--|--|
| 北海道予選        |    |     |      |                              | 全国大会                        |                                                 |  |  |  |
| 年            | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果                           | 回/会場                        | 北海道代表チーム                                        |  |  |  |
| 2025         | 41 | 函館  | 16   | 優勝 北海道オッサンドーレ<br>準優勝 函館四十雀50 | 24 2025年6月 沖縄<br>Lien Chiba | FCKアンフィニ<br>予選リーグ敗退<br>Docon Jack 50<br>予選リーグ敗退 |  |  |  |

| 全道O-40サッカー大会 |    |     |      |                                           | 全日本O-40サッカー大会                 |                           |  |  |  |
|--------------|----|-----|------|-------------------------------------------|-------------------------------|---------------------------|--|--|--|
| 北海道予選        |    |     |      |                                           | 全国大会                          |                           |  |  |  |
| 年            | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果                                        | 回/会場                          | 北海道代表チーム                  |  |  |  |
| 2025         | 50 | 釧路  | 16   | 優勝 北海道オッサンドーレ札幌40<br>準優勝 アンフィニVANKEI.FC40 | 13 2025年11月 秋田<br>エリース東京シニア40 | 北海道オッサンドーレ札幌40<br>予選リーグ敗退 |  |  |  |

| 北海道シニアサッカーオープン大会 |    |     |                                      |                                                                                 |                                                                         |                                              |  |  |  |
|------------------|----|-----|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|--|--|--|
| 年                | 回  | 開催地 | カテゴリー                                | チーム数                                                                            | 結果                                                                      |                                              |  |  |  |
| 2025             | 25 | 空知  | 70グループ<br>60グループ<br>50グループ<br>40グループ | 8 第1位 FC70室蘭<br>17 A1位 FCオールジャパン60<br>16 A1位 GTO十勝FC<br>10 A1位 アンフィニVANKEI.FC40 | 第2位 苫小牧シニア70サッカークラブ<br>B1位 北海道オッサンドーレ60<br>B1位 札幌50CERI烏<br>B1位 ミュートスSC | 第3位 札幌サッカークラブ七十雀<br>C1位 函館四十雀<br>C1位 真栄OFC50 |  |  |  |

| 北海道シニア8(エイト)サッカーツアーオープン大会 |    |     |                      |                                           |                                         |                                                       |  |  |  |
|---------------------------|----|-----|----------------------|-------------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------|--|--|--|
| 年                         | 回  | 開催地 | チーム数                 | 優勝                                        | 準優勝                                     | 第3位                                                   |  |  |  |
| 2025                      | 12 | 十勝  | 40部門<br>50部門<br>60部門 | 7 帯広フットボールくらぶ<br>8 GTO十勝FC<br>4 帯広シニア60SC | FCオールジャパン60<br>札幌50CERI烏<br>FCオールジャパン60 | albamare・nemuro<br>北見football Club50<br>とかち六条雀サッカークラブ |  |  |  |

| 全道シニア8人制サッカーオープン大会 |    |     |                                                                                                                        |                                                                        |                                                                      |  |  |  |  |
|--------------------|----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|
| 年                  | 回  | 開催地 | 結果                                                                                                                     |                                                                        |                                                                      |  |  |  |  |
| 2025               | 21 | 札幌  | 70グループ 第1位 札幌サッカークラブ七十雀・A<br>60グループ A1位 羊ヶ丘オールドキッカーズ2002/OV60<br>50グループ A1位 FCK ZIEX 50<br>40グループ A1位 アンフィニVANKEI.FC40 | 第2位 札幌サッカークラブ七十雀・A<br>B1位 札幌60CERI烏<br>C1位 北海道オッサンドーレ札幌50<br>B1位 M.F.C | C1位小樽60雀サッカークラブ<br>C1位北海道オッサンドーレ札幌50 D1位 札幌50CERI烏<br>C1位 旭川FCオーバー40 |  |  |  |  |

| 全日本フットサル選手権大会 北海道地域大会 |    |     |                                                               |           | フットサル                              |                 |  |  |  |
|-----------------------|----|-----|---------------------------------------------------------------|-----------|------------------------------------|-----------------|--|--|--|
| 北海道予選                 |    |     |                                                               |           | 全国大会                               |                 |  |  |  |
| 年                     | 回  | 開催地 | 結果                                                            | 北海道代表チーム  | 回/日程/会場                            | 北海道代表チーム        |  |  |  |
| 2025                  | 31 | 釧路他 | 優勝 エスポラータ北海道<br>準優勝 Sorpresa十勝<br>3位 LEVO北海道<br>Ganasal A.F.C | エスポラータ北海道 | 31 2026年3月 駒沢オリンピック公園他<br>ベスカドーラ町田 | エスポラータ北海道 2回戦敗退 |  |  |  |



| 北海道女子フットサル選手権大会 |    |     |      |     | 全日本女子フットサル選手権大会                        |                       |  |
|-----------------|----|-----|------|-----|----------------------------------------|-----------------------|--|
| 北海道予選           |    |     |      |     | 全国大会                                   |                       |  |
| 年               | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果  | 回/日程/会場                                | 北海道代表チーム              |  |
| 2025            | 24 | 札幌  | 8    | 優勝  | 22 2026年2月<br>ウインドヒルくしろ<br>SWHLレディース西宮 | エスポラーダ北海道イルネーヴェ       |  |
|                 |    |     |      | 準優勝 |                                        | 準々決勝敗退                |  |
|                 |    |     |      | 3位  |                                        | S.L. DasPeed<br>1回戦敗退 |  |
| 室蘭アイスバーズ        |    |     |      |     |                                        |                       |  |

| 全道大学フットサル大会兼全日本大学フットサル大会北海道代表決定戦 |    |     |      |                     | 全日本大学フットサル大会                         |                |
|----------------------------------|----|-----|------|---------------------|--------------------------------------|----------------|
| 北海道予選                            |    |     |      |                     | 全国大会                                 |                |
| 年                                | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果                  | 回/日程/会場                              | 北海道代表チーム       |
| 2025                             | 20 | 札幌  | 4    | 優勝                  | 21 2025年8月<br>岸和田市総合<br>大阪成蹊大学フットサル部 | 北海道大学Esperanza |
|                                  |    |     |      | 準優勝                 |                                      | 準々決勝敗退         |
|                                  |    |     |      | 3位                  |                                      |                |
|                                  |    |     |      | 北海道科学大学<br>東海大学札幌校舎 |                                      |                |

| 全道U-17フットサル選手権大会兼全日本U-18選手権北海道予選 |    |     |      |          | 全日本U-18フットサル選手権大会 |          |
|----------------------------------|----|-----|------|----------|-------------------|----------|
| 北海道予選                            |    |     |      |          | 全国大会              |          |
| 年                                | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果       | 回/日程/会場           | 北海道代表チーム |
| 2025                             | 37 | 帯広市 | 24   | 優勝       | 13 2026年8月        |          |
|                                  |    |     |      | 準優勝      |                   |          |
|                                  |    |     |      | 3位       |                   |          |
|                                  |    |     |      |          |                   |          |
|                                  |    |     |      | 北照高等学校   |                   |          |
|                                  |    |     |      | 帯広柏葉高等学校 |                   |          |
|                                  |    |     |      | 旭川明成高等学校 |                   |          |
|                                  |    |     |      | 旭川実業高等学校 |                   |          |

| 全道U-15フットサル選手権大会兼全日本U-15選手権北海道予選 |    |     |      |     |                   | 全日本U-15フットサル選手権大会                |                  |  |
|----------------------------------|----|-----|------|-----|-------------------|----------------------------------|------------------|--|
| 北海道予選                            |    |     |      |     |                   | 全国大会                             |                  |  |
| 年                                | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果  |                   | 回/日程/会場                          | 北海道代表チーム         |  |
| 2025                             | 37 | 釧路市 | 16   | 優勝  | Arearea FC U-15   | 31 2026年1月<br>日環アリーナ栃木<br>長岡JYFC | Arearea FC U-15  |  |
|                                  |    |     |      | 準優勝 | プログレッシブ十勝FC U-15A |                                  | 1次R敗退(2勝1敗)      |  |
|                                  |    |     |      | 3位  | SSSジュニアユース        |                                  | プログレッシブ十勝FC U-15 |  |
|                                  |    |     |      |     |                   |                                  | 準決勝敗退 第3位        |  |

| 全道U-15女子フットサル選手権大会兼全日本U-15女子選手権北海道予選 |    |     |      |     | 全日本女子U-15フットサル選手権大会                  |               |
|--------------------------------------|----|-----|------|-----|--------------------------------------|---------------|
| 北海道予選                                |    |     |      |     | 全国大会                                 |               |
| 年                                    | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果  | 回/日程/会場                              | 北海道代表チーム      |
| 2025                                 | 17 | 苫小牧 | 13   | 優勝  | 16 2026年1月<br>日環アリーナ栃木<br>バスドゥーロメニーナ | 岩見沢FCルファヴェニール |
|                                      |    |     |      | 準優勝 |                                      | 十勝FSリトルガールズ   |
|                                      |    |     |      | 3位  |                                      | BP函館キルティ      |
|                                      |    |     |      |     |                                      | B-girls       |

| バーモントカップ全日本U-12フットサル選手権大会北海道予選 |    |     |      |     |                   | バーモントカップ全日本U-12フットサル選手権大会 |                                |  |  |  |  |
|--------------------------------|----|-----|------|-----|-------------------|---------------------------|--------------------------------|--|--|--|--|
| 北海道予選                          |    |     |      |     |                   | 全国大会                      |                                |  |  |  |  |
| 年                              | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果  |                   | 回/日程/会場                   | 北海道代表チーム                       |  |  |  |  |
| 2025                           | 35 | 札幌  | 16   | 優勝  | SSS札幌サッカースクール     | 35 2025年8月                | SSS札幌サッカースクール                  |  |  |  |  |
|                                |    |     |      | 準優勝 | プレイフル函館ジュニア       |                           | 駒沢オリンピック公園 1次R敗退 グループ12位(2勝1敗) |  |  |  |  |
|                                |    |     |      | 3位  | 西園・福井野サッカースポーツ少年団 |                           | マルバ千葉fc プレイフル 函館ジュニア           |  |  |  |  |
|                                |    |     |      |     |                   |                           | 1次R敗退 グループA4位(3敗)              |  |  |  |  |

| 全道フットサル選手権大会 一般 |     |      |           |      |               |                    |
|-----------------|-----|------|-----------|------|---------------|--------------------|
| 年               | 開催地 | チーム数 | 優勝        | 準優勝  | 第3位           | 第3位                |
| 2025            | 釧路  | 18   | Safilva札幌 | LEVO | Ganasal A.F.C | dispositivo de fut |

| 全道フットサル選手権大会 女子 |     |      |              |                 |          |     |
|-----------------|-----|------|--------------|-----------------|----------|-----|
| 年               | 開催地 | チーム数 | 優勝           | 準優勝             | 第3位      | 第3位 |
| 2025            | 札幌  | 8    | クラブフィールズ・リンダ | クラブフィールズ・リンダ2nd | 旭川実業高等学校 |     |

| 全道シニアフットサル選手権大会 |    |           |      |              |            |                |
|-----------------|----|-----------|------|--------------|------------|----------------|
| 年               | 回  | 開催地       | チーム数 | 優勝           | 準優勝        | 第3位            |
| 2025            | 14 | 滝川 40グループ | 7    | NS VIVI      | 旭川FCオーバー40 | ZIZI 札幌FC40    |
|                 |    | 滝川 50グループ | 15   | FCKアンフィニ     | 真栄OFC 50   | Docon Jack 50Y |
|                 |    | 滝川 60グループ | 5    | FCオールジャパン 60 | Merienda   | オッサンドーレ札幌 60   |

| 全道フットサル選手権大会 U-14 |     |      |            |               |              |     |
|-------------------|-----|------|------------|---------------|--------------|-----|
| 年                 | 開催地 | チーム数 | 優勝         | 準優勝           | 第3位          | 第3位 |
| 2025              | 室蘭  | 24   | SSSジュニアユース | AVENDA FC U15 | FC フォルテ札幌U15 |     |

| 全道フットサル選手権大会 U-12 |     |      |               |          |                   |     |
|-------------------|-----|------|---------------|----------|-------------------|-----|
| 年                 | 開催地 | チーム数 | 優勝            | 準優勝      | 第3位               | 第3位 |
| 2025              | 十勝  | 24   | SSS札幌サッカースクール | 札幌ジュニアFC | 西園・福井野サッカースポーツ少年団 |     |

| 全道フットサル選手権大会 U-12女子 |    |     |      |          |          |          |
|---------------------|----|-----|------|----------|----------|----------|
| 年                   | 回  | 開催地 | チーム数 | 優勝       | 準優勝      | 第3位      |
| 2025                | 36 | 芦別  | 15   | ハマナスガールズ | 旭川女子トレセン | 小樽女子トレセン |

| バーモントカップ全日本少年フットサル大会北海道予選ブロック大会 |      |      |                    |                     |                      |                    |
|---------------------------------|------|------|--------------------|---------------------|----------------------|--------------------|
| 年                               | ブロック | チーム数 | 優勝                 | 準優勝                 | 第3位                  | 第3位                |
| 2025                            | 札幌   | 32   | A 西園・福井野           | LIV FC U-12         | FC DENOVA 札幌         | HKD TOP            |
|                                 |      |      | B One Eight FC     | アッリー札幌              | 札幌大谷地                | AGGRE U-12         |
|                                 |      |      | C 石狩フットボールクラブ      | 太平FC                | FC Kitago PIVO アスベルテ | 札幌藻南FC             |
|                                 |      |      | D SSS札幌サッカースクール    | Fibra Football Club | 篠路FC                 | アスカラ札幌U-12         |
|                                 | 道央   | 16   | ウエスト・F・マリノ小樽FC     | EZZORE FC           | 稲穂                   |                    |
| 2025                            | 道南   | 9    | A 函館ジュニオール         | ASC                 | ジュニオーレFC             |                    |
|                                 |      |      | B ブレイフル函館          | 北海道コンサドーレ室蘭         | 北斗SC                 |                    |
|                                 | 道東   | 12   | C サン・スポーツクラブ       | YELL FOOTBALL CLUB  | 幌別西サッカースポーツ少年団       |                    |
|                                 |      |      | A 網走市サッカースポーツ少年団   | SC釧路U-12            | Spo-RE幕別札幌FC RED     | 芽室サッカースポーツ少年団GREEN |
| 2025                            | 道北   | 8    | B 北見西サッカースポーツ少年団   | プロGRESS十勝FC U-12    | Spo-RE幕別札幌FC BLUE    | 根室北斗F.C            |
|                                 |      |      | C 紋別ドルフィンズ         | SHIKAOI FC          | 別海KSC A              | 富原FC               |
|                                 |      |      | A 名寄ビヤリサッカースポーツ少年団 | トロンコ旭川              | 名寄少年団                | FC ASTRO           |
|                                 |      |      | B B.N.F.C          | VITA FC             | ふらのFC                | CRECER稚内           |

| 北海道フットサルリーグ |    |     |      |           |                       | F地域チャンピオンズリーグ                          |                  |
|-------------|----|-----|------|-----------|-----------------------|----------------------------------------|------------------|
| 北海道予選       |    |     |      |           |                       | 全国大会                                   |                  |
| 年           | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果        |                       | 回/日程/会場                                | 北海道代表チーム         |
| 2025        | 26 | 札幌  | 10   | 優勝        | Safilva札幌             | 26 2026年2月<br>照葉積水ハウスアリーナ<br>リンドバロッサ京都 | Safilva札幌<br>第3位 |
|             |    | 旭川他 |      | 準優勝<br>3位 | Sorpresa十勝<br>LEVO北海道 |                                        |                  |

| 北海道フットサルリーグ ブロックリーグ決勝大会(北海道フットサル地区リーグ決勝大会) |   |     |      |               |                |              |
|--------------------------------------------|---|-----|------|---------------|----------------|--------------|
| 年                                          | 回 | 開催地 | チーム数 | 優勝            | 準優勝            | 第3位          |
| 2025                                       | 9 | 札幌  | 4    | Ganasal A.F.C | Estmola Nemuro | K.K.T Gloria |

| 北海道フットサルリーグ ブロックリーグ |   |      |      |                 |             |                |
|---------------------|---|------|------|-----------------|-------------|----------------|
| 年                   | 回 | ブロック | チーム数 | 優勝              | 準優勝         | 第3位            |
| 2025                | 7 | 札幌道央 | 8    | K.K.T Gloria    | Radiance    | MIRAGE         |
|                     |   | 道北   | 6    | Ganasal A.F.C   | K・S disfida | vivi nexus     |
|                     |   | 道南   | 5    | ARIVALUS室蘭      | LEVO        | graduale函館     |
|                     |   | 道東   | 3    | Estimola Nemuro | Armada      | Sorpresa十勝 Cas |

| 北海道女子フットサルリーグ(1部) |    |     |      |           |                    | FUTSAL地域女子チャンピオンズリーグ                        |                                    |
|-------------------|----|-----|------|-----------|--------------------|---------------------------------------------|------------------------------------|
| 北海道予選             |    |     |      |           |                    | 全国大会                                        |                                    |
| 年                 | 回  | 開催地 | チーム数 | 結果        |                    | 回/日程/会場                                     | 北海道代表チーム                           |
| 2025              | 15 | 札幌  | 8    | 優勝        | S.L DasPeed        | 13 2026年3月<br>いしかわ総合スポーツ<br>バドミントン浦安ラス・チャウス | S.L DasPeed<br>1次R敗退 グループB2位(2勝1敗) |
|                   |    | 旭川他 |      | 準優勝<br>3位 | Colmilo<br>札幌レディース |                                             |                                    |

| 北海道女子フットサルリーグ(2部) |    |     |      |          |                       |          |
|-------------------|----|-----|------|----------|-----------------------|----------|
| 年                 | 回  | 開催地 | チーム数 | 優勝       | 準優勝                   | 第3位      |
| 2025              | 15 | 札幌  | 6    | Reusa FC | 北海道Corrida.de.toros.L | ヴォルフエ北海道 |

| 全道自治体職員フットサル大会 |    |       |      |        |            |         |
|----------------|----|-------|------|--------|------------|---------|
| 年              | 回  | ブロック  | チーム数 | 優勝     | 準優勝        | 第3位     |
| 2025           | 21 | 南 札幌  | 21   | 名寄F.C  | 函館市役所サッカー部 | FSC岩見沢  |
|                |    | 北 中標津 |      | 北広島市役所 | 根室市役所      | 別海BOSFC |

| 北海道フットサルリーグカップ |    |     |      |            |         |                          |
|----------------|----|-----|------|------------|---------|--------------------------|
| 年              | 回  | 開催地 | チーム数 | 優勝         | 準優勝     | 第3位                      |
| 2025           | 14 | 江別  | 11   | Sorpresa十勝 | LEVO北海道 | Safilva札幌<br>FIVE A SIDE |

| LUXPERIOR CUP 北海道大学フットサルリーグ |    |     |      |         |                |                |
|-----------------------------|----|-----|------|---------|----------------|----------------|
| 年                           | 回  | 開催地 | チーム数 | 優勝      | 準優勝            | 第3位            |
| 2025                        | 21 | 札幌  | 7    | 健康増進クラブ | 北海道大学Esperanza | 北海学園大学フットサル愛好会 |

| U-8・U-10フットサルリーグチャンピオンズカップ |   |     |      |               |          |               |
|----------------------------|---|-----|------|---------------|----------|---------------|
| 年                          | 回 | 開催地 | チーム数 | 優勝            | 準優勝      | 第3位           |
| 2025                       | 2 | 札幌  | 24   | クリアールサッカースクール | DOHTO Jr | 登別FC U-12エルカソ |

| 全道U-15フットサル大会兼全日本U-15北海道代表決定戦 ブロック予選 |      |      |                 |                   |             |               |
|--------------------------------------|------|------|-----------------|-------------------|-------------|---------------|
| 年                                    | ブロック | チーム数 | 優勝              | 準優勝               | 第3位         |               |
| 2025                                 | 札幌   | 8    | A ベアフット北海道      | クラブフィールズ          | 石狩フットボールクラブ | HKD FC        |
|                                      |      |      | B SSSジュニアユース    | SSS札幌サクセス         | FCフォルテU15   | SSSジュニアユース2nd |
|                                      | 道央   | 16   | DOHTO Jr ユース    | 岩見沢FC             | FC VORTEX   |               |
|                                      | 道南   | 3    | AVENDA FC       | 苫小牧ELSOLE-FC U-15 | 室蘭市中学校拠点校   |               |
|                                      | 道東   | 16   | JOGA            | プロGRESS十勝A        | 幕別札内        | 下音更・共栄・駒場合同   |
|                                      | 道北   | 8    | A EINS FSV      | サフォーランド士別SC       | 広陵中学校       | 稚内東中学校        |
|                                      |      |      | B TRAUM VITA FC | 潮見が丘中学校           | 上富良野中学校     | B.N.F.C       |

| ビーチサッカー大会北海道予選 |    |       |      |           |                          | 全国ビーチサッカー大会                       |                         |
|----------------|----|-------|------|-----------|--------------------------|-----------------------------------|-------------------------|
| 北海道予選          |    |       |      |           |                          | 全国大会                              |                         |
| 年              | 回  | 開催地   | チーム数 | 結果        |                          | 回/日程/会場                           | 北海道代表チーム                |
| 2025           | 20 | イタンキ浜 | 3    | 優勝        | ARTHOME GARDEN           | 20 2025年9月<br>兵庫県明石市<br>東京ヴェルディBS | ARTHOME GARDEN<br>1回戦敗退 |
|                |    |       |      | 準優勝<br>3位 | 大鎮キムラ建設BY II<br>旭川実業高等学校 |                                   |                         |

| 北海道チャレンジドサッカー大会(11人制) |    |     |      |          |            |            |
|-----------------------|----|-----|------|----------|------------|------------|
| 年                     | 回  | 開催地 | チーム数 | 優勝       | 準優勝        | 第3位        |
| 2025                  | 24 | 栗山  | 11   | 札幌NFCトップ | 札幌あいの里U-18 | 新高サッカー部&OB |

| 北海道チャレンジドサッカー大会(8人制) |    |     |          |                         |                   |                             |
|----------------------|----|-----|----------|-------------------------|-------------------|-----------------------------|
| 年                    | 回  | 開催地 | チーム数     | 優勝                      | 準優勝               | 第3位                         |
| 2025                 | 24 | 栗山  | 6 フリー    | B.N.F.Cなつみかん            | 札幌NFCトップ・チャレンジ    | みなみの杜                       |
|                      |    |     | 8 フレンドリー | レッド 新篠津<br>ブルー わくわくキッズ笑 | 豊明<br>シーガルFIDドリーム | B.N.F.Cなつみかん<br>札幌NFCフレンドリー |

| 北海道高等養護学校サッカー大会 |    |     |      |              |             |           |
|-----------------|----|-----|------|--------------|-------------|-----------|
| 年               | 回  | 開催地 | チーム数 | 優勝           | 準優勝         | 第3位       |
| 2025            | 15 | 新篠津 | 8    | 札幌あいの里高等支援学校 | みなみの杜高等支援学校 | 新篠津高等養護学校 |
|                 |    |     |      |              |             | 今金高等養護学校  |

| 北海道チャレンジドフットサル大会 |    |     |      |          |       |      |
|------------------|----|-----|------|----------|-------|------|
| 年                | 回  | 開催地 | チーム数 | フリークラス優勝 | 準優勝   | 第3位  |
| 2025             | 25 | 札幌市 | 34   | 札幌NFCトップ | 新篠津OB | 豊明OB |

# 2025年度日本代表各カテゴリー選手/役員(北海道関連)

2026年3月31日現在

|                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------|
| <b>なでしこジャパン(日本女子代表)国際親善試合</b>                                                |
| 4/6 @大阪                                                                      |
| 熊谷 紗希 クマガイ サキ(ロンドン・シティ・ライオネス/イングランド)                                         |
| <b>U-16日本代表 モンテギュー国際大会</b>                                                   |
| 4/10~4/23 @フランス                                                              |
| コーチ:山橋 貴史 ヤマハシ タシ(日本サッカー協会 JFAコーチ)                                           |
| <b>U-15日本代表 クロアチア遠征 International U-15 tournament "Vlatko Marković" 2025</b> |
| 5/9~5/20 @クロアチア                                                              |
| 宮園 蒼空 ミヤゾノ ソラ(北海道コンサドーレ札幌U-15)                                               |
| <b>U-19日本女子代表 SUD Ladies Cup 2025</b>                                        |
| 5/26~6/5 @フランス                                                               |
| コーチ:鈴木 木乃実 スズキ コミ(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)                                   |
| <b>U-18日本代表 UEFA Friendship Cup</b>                                          |
| 5/28~6/12 @スイス                                                               |
| フィジカルコーチ:大塚 慶輔 オツカ ケイスケ(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)                             |
| <b>なでしこジャパン(日本女子代表)国際親善試合</b>                                                |
| 5/30、6/2 @ブラジル                                                               |
| 熊谷 紗希 クマガイ サキ(ロンドン・シティ・ライオネス/イングランド)                                         |
| <b>U-17日本代表 スペイン遠征</b>                                                       |
| 6/1~6/12 @スペイン                                                               |
| ドクター:神谷智昭(HKFA医学委員会委員長)                                                      |
| <b>U-16日本代表 U-16インターナショナルドリームカップ2025 JAPAN</b>                               |
| 6/2~6/8 @福島                                                                  |
| コーチ:山橋 貴史 ヤマハシ タシ(日本サッカー協会 JFAコーチ) ドクター:堀田 和志(HKFA医学委員会委員)                   |
| <b>SAMURAI BLUE(日本代表)FIFAワールドカップ26 アジア最終予選(3次予選)</b>                         |
| 6/5 @オーストラリア 6/10 @大阪                                                        |
| テクニカルスタッフ:渡邊 秀朗 ワタナベ ヒデアキ(日本サッカー協会 テクニカルハウス)                                 |
| <b>なでしこジャパン(日本女子代表)国際親善試合</b>                                                |
| 6/27 @スペイン                                                                   |
| 熊谷 紗希 クマガイ サキ(ロンドン・シティ・ライオネス/イングランド)                                         |
| <b>U-16日本代表 中国遠征 CFA PEACE CUP</b>                                           |
| 7/1~7/9 @中国                                                                  |
| コーチ:山橋 貴史 ヤマハシ タシ(日本サッカー協会 JFAコーチ)                                           |
| <b>SAMURAI BLUE(日本代表)東アジアE-1サッカー選手権2025決勝大会</b>                              |
| 7/6~7/15 @韓国                                                                 |
| テクニカルスタッフ:渡邊 秀朗 ワタナベ ヒデアキ(日本サッカー協会 テクニカルハウス)                                 |
| <b>なでしこジャパン(日本女子代表)東アジアE-1サッカー選手権2025決勝大会</b>                                |
| 7/6~7/17 @韓国                                                                 |
| 三宅 史織 ミヤケ シオリ(INAC神戸レオネッサ)                                                   |
| <b>U-19日本女子代表 AFC U20女子アジアカップタイ2026予選</b>                                    |
| 7/29~8/11 @タイ・マレーシア                                                          |
| コーチ:鈴木 木乃実 スズキ コミ(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)                                   |

|                                                    |
|----------------------------------------------------|
| <b>U-22日本代表 Mirabror Usmanov Memorial Cup 2025</b> |
| 7/20～7/30 @ウズベキスタン                                 |
| 矢田 龍之介 ヤダ リュウノスケ(筑波大)                              |
| <b>U-15日本代表 The Gary Speed Tournament</b>          |
| 8/23～9/2 @ウェールズ                                    |
| フィジカルコーチ:大塚 慶輔 オオツカ ケイスケ(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)  |
| <b>U-22日本代表 AFC U23アジアカップ サウジアラビア 2026予選</b>       |
| 8/30～9/11 @ミャンマー                                   |
| 矢田 龍之介 ヤダ リュウノスケ(筑波大)                              |
| <b>SAMURAI BLUE(日本代表)国際親善試合</b>                    |
| 9/6、9/9 @アメリカ                                      |
| テクニカルスタッフ:渡邊 秀朗 ワタナベ ヒデアキ(日本サッカー協会 テクニカルハウス)       |
| <b>U-17日本代表 国際ユースサッカーin新潟</b>                      |
| 9/8～9/15 @新潟                                       |
| コーチ:山橋 貴史 ヤマハシ タシ(日本サッカー協会 JFAコーチ)                 |
| <b>フットサル日本代表 AFCフットサルアジアカップインドネシア2026予選</b>        |
| 9/10～9/26 @タジキスタン                                  |
| 監督:高橋 健介 タカハシ ケンスケ(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)        |
| <b>U-17日本代表候補 国内トレーニングキャンプ</b>                     |
| 9/27～10/1 @大阪                                      |
| ドクター:神谷智昭(HKFA医学委員会委員長)                            |
| <b>U-16日本代表 ウズベキスタン遠征</b>                          |
| 10/8～10/17 @ウズベキスタン                                |
| コーチ:山橋 貴史 ヤマハシ タシ(日本サッカー協会 JFAコーチ)                 |
| <b>SAMURAI BLUE(日本代表)キリンチャレンジカップ2025</b>           |
| 10/10 @大阪 10/14 @東京                                |
| テクニカルスタッフ:渡邊 秀朗 ワタナベ ヒデアキ(日本サッカー協会 テクニカルハウス)       |
| <b>フットサル日本代表 国際親善試合</b>                            |
| 10/17、10/19 @静岡                                    |
| 監督:高橋 健介 タカハシ ケンスケ(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)        |
| <b>U-19日本女子代表候補 国内トレーニングキャンプ</b>                   |
| 10/20～10/23 @福島                                    |
| コーチ:鈴木 木乃実 スズキ コミ(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)         |
| <b>U-17日本代表 FIFA U-17ワールドカップカタール2025</b>           |
| 10/22～11/24 @カタール                                  |
| ドクター:神谷智昭(HKFA医学委員会委員長)                            |
| <b>なでしこジャパン(日本女子代表) 国際親善試合</b>                     |
| 10/24 @イタリア 10/28 @スペイン                            |
| 熊谷 紗希 クマガイ サキ(ロンドン・シティ・ライオネス/イングランド)               |
| <b>U-18フットサル日本代表候補 国内トレーニングキャンプ</b>                |
| 11/9～11/12 @千葉                                     |
| 監督:高橋 健介 タカハシ ケンスケ(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)        |
| <b>SAMURAI BLUE(日本代表)キリンチャレンジカップ2025</b>           |
| 11/14 @愛知 11/18 @東京                                |
| テクニカルスタッフ:渡邊 秀朗 ワタナベ ヒデアキ(日本サッカー協会 テクニカルハウス)       |

|                                                           |
|-----------------------------------------------------------|
| <b>U-18日本代表 ウェールズ遠征</b>                                   |
| 11/10～11/20 @イギリス                                         |
| フィジカルコーチ:大塚 慶輔 オツカ ケイスケ(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)          |
| <b>なでしこジャパン(日本女子代表)MS&amp;ADカップ2025</b>                   |
| 11/29 @長崎                                                 |
| 熊谷 紗希 クマガイ サキ(ロンドン・シティ・ライオネス/イングランド)                      |
| <b>U-16日本代表 エジプト遠征</b>                                    |
| 12/9～12/19 @エジプト                                          |
| コーチ:山橋 貴史 ヤマハシ タシ(日本サッカー協会 JFAコーチ)                        |
| <b>フットサル日本代表 FUTSAL WEEK December Cup</b>                 |
| 12/14～12/23 @クロアチア                                        |
| 監督:高橋 健介 タカハシ ケンスケ(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)               |
| <b>U-18日本代表2025 SBSカップ国際ユースサッカー</b>                       |
| 12/15～12/21 @静岡                                           |
| フィジカルコーチ:大塚 慶輔 オツカ ケイスケ(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)          |
| <b>U-22日本代表 IBARAKI Next Generation Cup2025</b>           |
| 12/21～12/27 @茨城                                           |
| 矢田 龍之介 ヤダ リュウノスケ(筑波大)                                     |
| <b>フットサル日本代表 AFCフットサルアジアカップインドネシア2026</b>                 |
| 1/15～2/8 @インドネシア                                          |
| 監督:高橋 健介 タカハシ ケンスケ(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)               |
| <b>U-17日本代表 HiFA 平和祈念 2025 Balcom BMW CUP 広島国際ユースサッカー</b> |
| 2/17～2/23 @広島                                             |
| コーチ:山橋 貴史 ヤマハシ タシ(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)                |
| <b>なでしこジャパン(日本女子代表)AFC女子アジアカップオーストラリア2026</b>             |
| 2/23～3/22 @オーストラリア                                        |
| 熊谷 紗希 クマガイ サキ(ロンドン・シティ・ライオネス/イングランド)                      |
| <b>U-20日本女子代表候補 国内トレーニングキャンプ</b>                          |
| 2/23～2/26 @千葉                                             |
| 菊地 花奈 キクチ ハナ(マイナビ仙台レディース)                                 |
| <b>U-18日本代表 第8回 J-VILLAGE CUP U-18</b>                    |
| 3/11～3/16 @福島                                             |
| フィジカルコーチ:大塚 慶輔 オツカ ケイスケ(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)          |
| <b>U-17日本代表 アルゼンチン遠征</b>                                  |
| 3/12～3/23 @アルゼンチン                                         |
| コーチ:山橋 貴史 ヤマハシ タシ(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)                |
| <b>U-19日本代表 ウズベキスタン遠征</b>                                 |
| 3/23～3/31 @ウズベキスタン                                        |
| フィジカルコーチ:大塚 慶輔 オツカ ケイスケ(日本サッカー協会 ナショナルコーチングスタッフ)          |
| <b>U-21日本代表 韓国遠征</b>                                      |
| 3/23～3/30 @韓国                                             |
| 矢田 龍之介 ヤダ リュウノスケ(筑波大)                                     |
| <b>SAMURAI BLUE(日本代表)キリンワールドチャレンジ2026</b>                 |
| 3/28 @スコットランド 3/31 @イングランド                                |
| テクニカルスタッフ:渡邊 秀朗 ワタナベ ヒデアキ(日本サッカー協会 テクニカルハウス)              |